

加藤家文書

—目録—

2022

大崎市教育委員会

加藤家文書

二〇二二

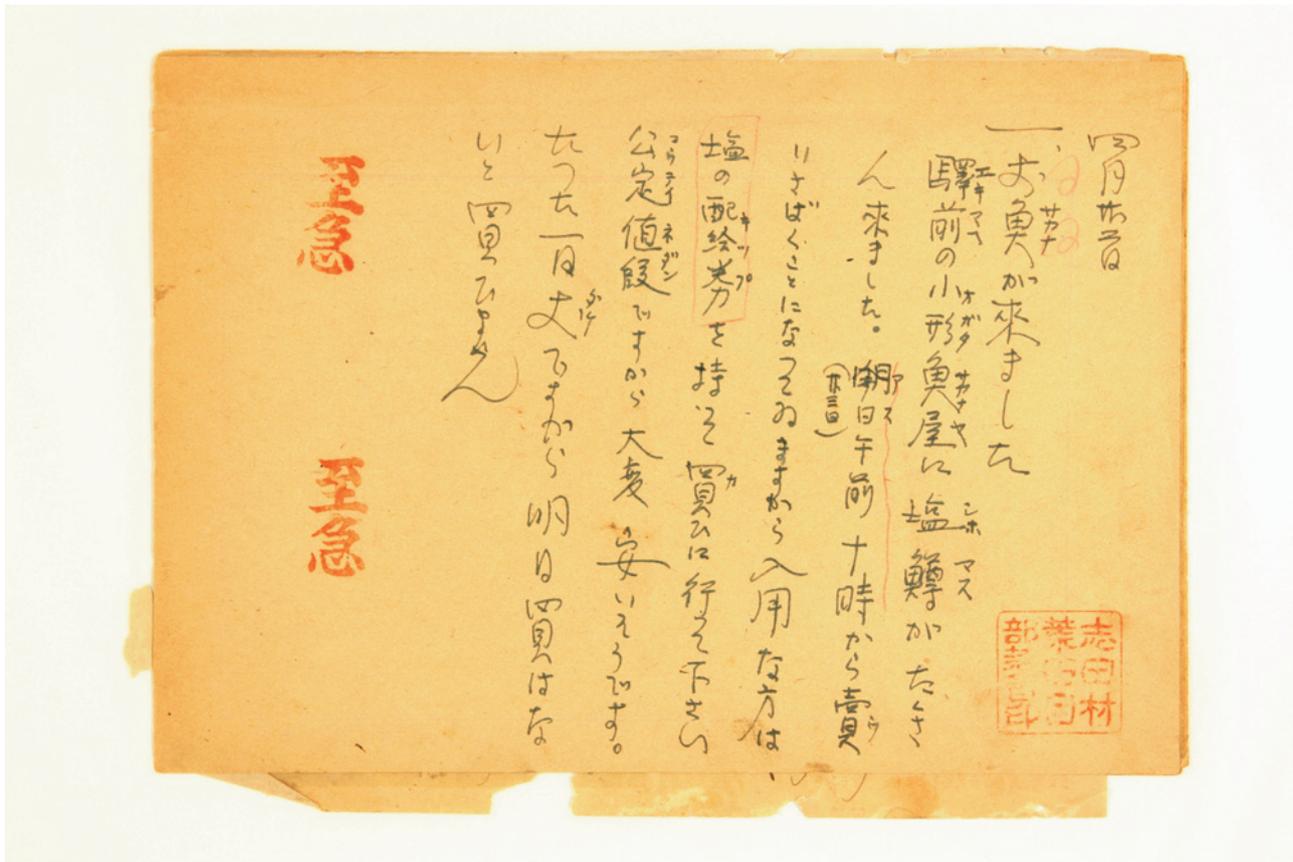
大崎市教育委員会



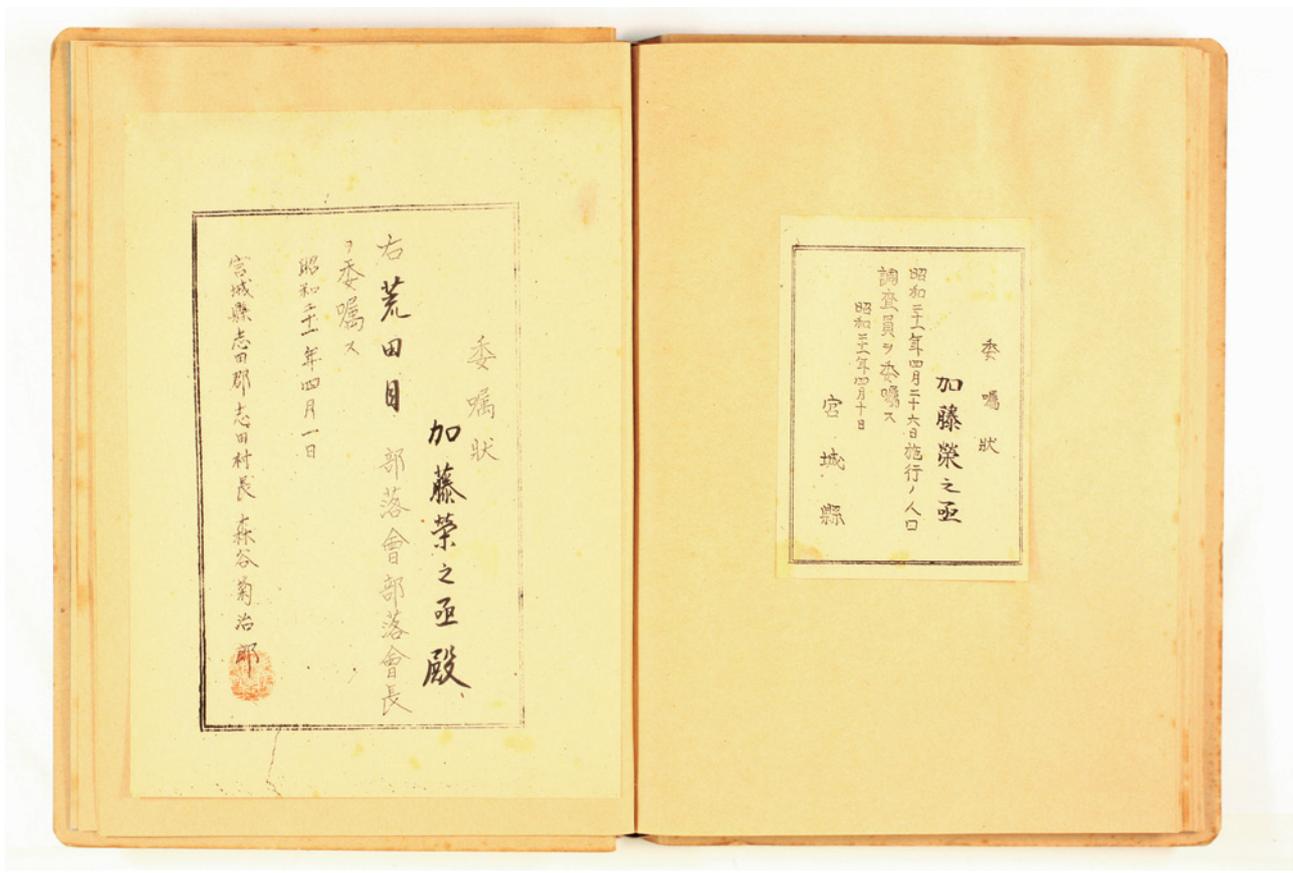
加藤家文書204 志田村大字荒田目小字地図（表紙）明治43年11月



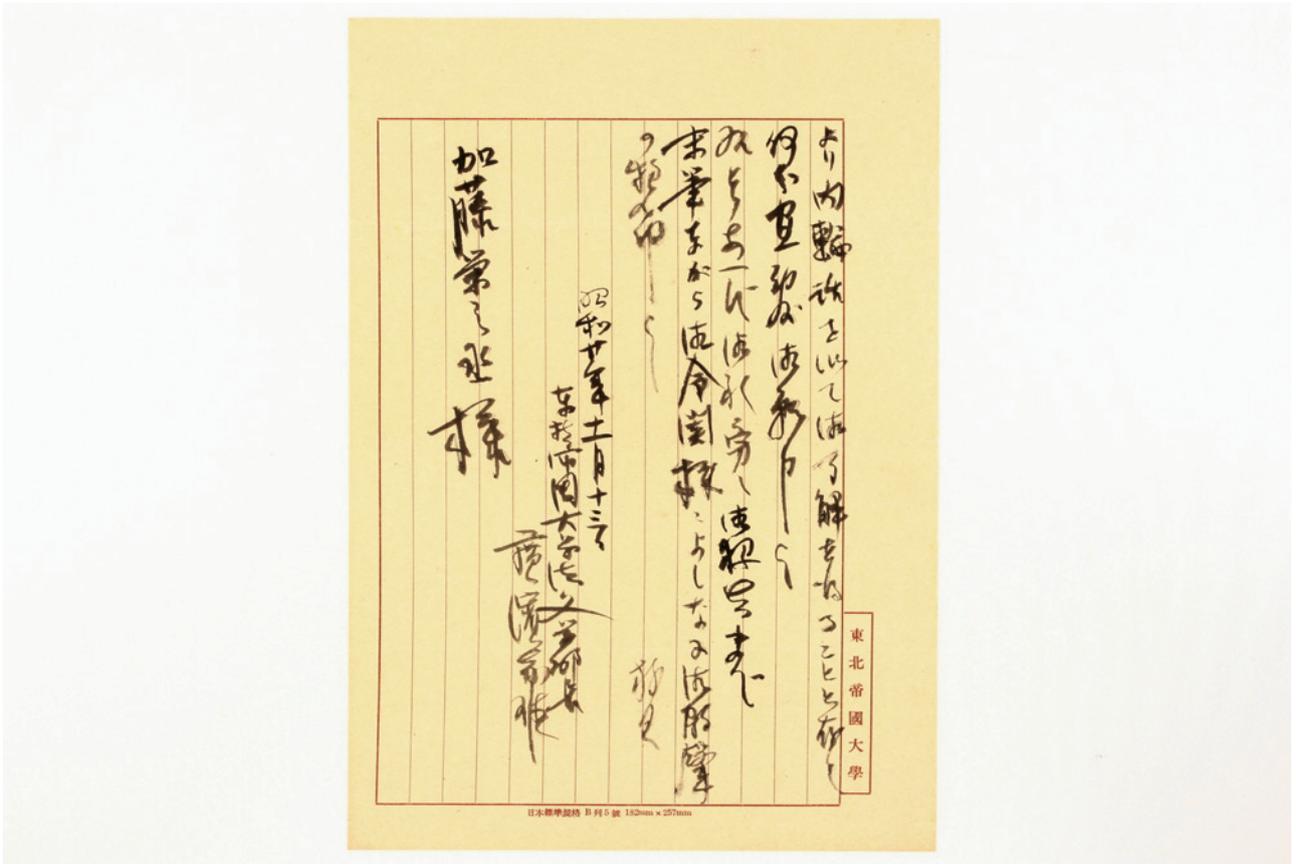
加藤家文書204 志田村荒田目全略図 明治43年



加藤家文書2-7 回覧板「お魚が来ました」(昭和17年) 4月22日



加藤家文書210-1 荒田目部落会部落会長の委嘱状 昭和21年4月1日



加藤家文書210-3-5 加藤栄之丞宛廣濱嘉雄書簡 昭和20年11月13日



加藤家文書120-1 翼賛壯年運動第98号 昭和19年8月1日

序 文

この度、「加藤家文書」目録を刊行することとなりました。

この加藤家文書は、古川市史編さん事業において調査・解読が進められ「資料編Ⅳ近代・現代」の一部に収載しています。平成二三年に大崎市に寄贈され、平成二七年には大崎市指定有形文化財に指定されました。令和二年から岩出山古文書を読む会に依頼して目録の再整理が進められました。

加藤家は代々農事の改良に熱心に取り組み、明治期には志田村議会や志田村長などの要職についています。

本史料は加藤栄之丞氏が残した戦時下の志田郡荒田目村部落の記録で、回覧板は古川荒田目地区を南と北の二つの班に分け、それぞれに同じ内容の回覧板を手書きで作成していました。また、部落常会の案内や供出米の出荷量達成の協力、戦死者に弔意を表すための村執行事や応召兵歓送迎会についてなど、当時の状況を具体的に知ることができる貴重な史料です。栄之丞氏は、戦時中に部落会長や翼賛壮年団長、戦後は古川市議会議員などを歴任しています。

今回、加藤家文書の文化財調査報告書を刊行する運びとなりましたが、今後は作業が進んだ文書から順次調査成果を報告して行く予定であります。最後になりますが、本書の刊行にあたりご尽力を頂いた東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門教授荒武賢一朗氏をはじめ、ご協力を賜りました関係各位に対し、深甚なる感謝を申し上げます。

令和五年三月

大崎市教育委員会

教育長 熊野 充利

凡例

荒武賢一朗

- 一 大崎市加藤家文書は、同家に伝来した歴史資料七五三点から構成されている。
- 一 作成時期の判明する資料は、明治十九年（一八八六）から昭和五六年（一九八一）までである。ただし、約三〇〇点は特定ができないため年次を（昭和・年月日未詳）、または月日のみを記載した。
- 一 文書の配列は、保存状態に応じて文書番号を設定し、内容を解析し、たうえで必要なものには枝番を付けて詳細な情報を掲載する。
- 一 掲載項目は、番号・枝番（一・二）・西暦・作成年月日・表題・形態・差出人・宛先・備考である。
- 一 西暦は作成年月日をもとに記載し、特定できない場合は空欄とした。
- 一 作成年月日は、文書の記載にしたがって原文のとおりとしている。ただし、記載と内容が異なる場合、作成時期が本文中から確認できる場合は○で補足する。
- 一 表題は原題の記載を基本とする。原題がない、もしくは補記が必要な場合は、○内に適宜内容を付け加えた。
- 一 形態は保存状態によって、状・冊・綴の三種類に区分した。
- 一 差出人と宛先は原則二名までとする。ただし、重要な情報と判断した場合はそれに限らない。氏名を省略した場合は、○内に人数を記載した。また、署名に印鑑のある場合は、（印）を付けている。
- 一 備考は破損や欠落など現状を示すもの、前後関係がわかるよう記載している。
- 一 字体は原文記載のとおりを基本としているが、常用漢字を優先的に使用する場合を含む。
- 一 破損などにより判読不能の箇所は■で表記した。
- 一 文書目録の作成は大崎市教育委員会文化財課がおこない、その基礎データをもとに荒武賢一朗が表記の統一や編集作業を担当した。

例 言

一 本書は大崎市指定文化財九三号加藤家文書の目録として、大崎市教育委員文化財課が作成・発行した。

一 本書の作成にあたり、次のとおりに分担した。

本文執筆 東北大学東北アジア研究センター

上廣歴史資料学研究部門教授 荒武賢一朗

佐藤 優、菊地優子

写真撮影 佐々木里咲

編集 大関ルミ

一 本書の作成等には、次の方々からご指導・ご協力を頂いた。
記して感謝申し上げます。(敬称略)

加藤晴彦

佐藤憲一

岩出山古文書を読む会

大崎市図書館

一 本書に関する諸記録並びに写真などは、大崎市教育委員が保管している。

I 解題

荒武賢一朗

はじめに

宮城県大崎市は、往古の時代より人々が生活を営み、その歴史を育んできた豊かな地域である。古代の遺跡はもとより、近世・近現代における文献資料も市内各地で大切に継承されて現在に至っている。本書は、大崎市古川に伝来した加藤家文書の調査報告書として、その文書目録と内容に関する紹介をおこなうこととしたい。同家からの寄贈を受けて、大崎市教育委員会文化財課では文書全体の調査に着手し、平成二十七年（二〇一五）五月に大崎市指定文化財（有形文化財、古文書・書籍典籍）となった。その指定に至る過程において、同課では内容を確認するための文書目録を作成し、市域ならびに宮城県の近現代史を語るうえで貴重な歴史資料であることがわかった。令和三年（二〇二一）春、加藤家文書の調査について成果を発信し、今後の研究利用を促進するという目標に向けて本書の刊行が計画され、同課の依頼により筆者が編集をお引き受けすることになった。

以下、加藤家文書目録の内容から、近現代の地域史研究に大きな貢献をするであろう文書群の概要と特筆すべき資料の紹介をしていきたい。

加藤家文書の概要

現在、大崎市教育委員会所蔵の加藤家文書は、合計七五三点から構成されている。そのうち四五〇点余りは明治十九年（一八八六）から昭和五六年（一九八一）の時期に作成されたことが判明する。残る三〇〇点

余りは、昭和初期から戦後にかけてであろうと推測できる。近現代の村落および戦時下の状況を詳しく解明する素材として極めて重要であるほか、収載文書の多くを執筆・収集した加藤栄之丞の足跡についても具体的にわかる。

加藤家は、少なくとも近世から陸奥国志田郡荒田目（あらたのめ）村（現・大崎市古川荒田目）で住み暮らしたと考えられる。荒田目村は、明治三二年（一八八九）四月の町村制施行により、近隣一二か村と合併して志田村となった。昭和戦前期には「荒田目部落会」が機能しているので、志田村成立後も地域住民の組織が存在していたと考えられる。昭和二五年（一九五〇）に志田村は古川町に編入されていたと考えられ、平成一八年（二〇〇六）の大崎市に誕生へとつながっていく。

【作成年代別の概要】 ※文中の○にアラビア数字は文書番号

①明治期：二八点。最も古いのは明治十九年（一八八六）と記載のある大字荒田目の小字地図（204、206―8）である。ただし、同年の原図を明治四三年（一九一〇）ごろに筆写したものと考えられる。それを除くと、加藤栄之助が作成した明治二十七年（一八九四）から約一〇年間の「所有地・管理地・小作米・貸附記入台帳 第壹号」（168―1）、明治四〇年代の志田村戸別等級（200～202）や荒田目の名寄帳・土地台帳（170～172）が続く。

②大正期：一一点。大正元年（一九一二）から同四年の志田村荒田目耕地整理組合の土地台帳や組合の予算・決算書（169、174～178）がある。

③昭和三年から一〇年：八点。加藤栄之丞への委嘱状綴（209）、荒田目における米穀生産統計調査（156～158）、昭和七年度志田村歳入出決算関係（193）、そして加藤家の家業であった貨物運送

の契約数（208―2―1）などがある。

④昭和一一年から一五年：四三点。昭和一一年（一九三六）は前年に引き続き米穀生産および作付反別調査書類（143、159ほか）、小字地番一覧（207）、そして荒田目部落会における肥料および配給品関係（130、136ほか）や新聞の連載記事（117）がある。また、加藤栄之丞が昭和一五年（一九四〇）一二月に大政翼賛会宮城県志田郡支部の理事を委嘱されたことから「大政翼賛録」（116―1）という冊子も含まれていた。

⑤昭和一六年：三六点。同年は太平洋戦争の開戦があり、加藤家および荒田目にも戦時統制の動きが活発化していることを文書からもよく理解できる。加藤栄之丞は、大日本報徳社や大政翼賛会が主催する指導者研修に参加し、その際の資料も保存されていた（198、199）。特筆すべきは、荒田目部落会において情報共有を図るため使用した「回覧板」（108）である。大政翼賛会宮城県支部が発信した情報を各戸へ伝達しているほか、荒田目農事実行組合関係書類（125、126）、荒田目国民貯蓄組合関係書類（133、134）など地域運営にかかる文書も目立っている。

⑥昭和一七年：四八点。戦時における村落の様子を具体的に知る資料が数多く含まれている。おもに志田村荒田目部落会の印鑑がある回覧板（2、45）のほか、加藤栄之丞が団長を務める志田村翼賛壮年団も結成されたため、政府が国民へ流布する国威高揚を示す文書も多い（121、124）。

⑦昭和一八年：三二点。荒田目部落会による耕地調査書類（161、162）や肥料配給（194）、そして戦争や国家観に関しては新聞記事の切り抜きが多数を占め「東北の翼賛運動」（124）をはじめとする当時の状況に加藤栄之丞が関心を寄せていたことも推

測できよう。また、栄之丞は宮城県国民貯蓄組合指導員や志田村臨時食糧報告協議会会員などに就任したため、いっそう村内および荒田目地区の社会生活に関与している。

⑧昭和一九年：三九点。戦時関連書類がほとんどであり、大政翼賛会関連書類（119）や翼賛壮年運動の会誌（120、122）、村内の課題については志田村農業会設立関連書類（132、加藤栄之丞は副会長）や岩出山大堰普通水利組合関係書類（153、加藤栄之丞は組合議員に当選）といった農業振興についても記録を残す。

⑨昭和二〇年：六六点。終戦までの地域運営、さらにその後の社会生活再建に向けた文書も特色といえる。前半では荒田目部落会からの供出米関係や世帯別の収穫高（142）を数値化している一方、終戦以降には志田村農地委員会関係書類（165）など加藤栄之丞は引き続き公共的役割を担っていたことが確認できる。

⑩昭和二一年から二五年：一〇五点。戦後政治の始まりが着実に地域へ浸透しつつある状況が文書からうかがえる。荒田目部落会の会議資料（113）、農事実行組合関係（129、131）、食糧需給の状況（142、164ほか）や大崎農民（農業）大学関係（166）、民生委員会関係（167）など時代の変化を知る手がかりが多く収載されている。

⑪昭和二七年から昭和五六年および昭和年末詳：一六点。昭和二七年（一九五二）に古川市教育委員会委員に就任した加藤栄之丞は、同三〇年（一九五五）の古川市議会議員当選をはじめ多くの公職を歴任する。地域行政全般に研鑽を積んだと察するが、とりわけ教育関係には強い関心を持っており、学校・社会を問わずさまざまな事業へ参加した（197、208ほか）。

⑫年末詳：三〇五点。年代は明らかではないが、およそ昭和戦前・戦中

期であろうと推測する。おもに月日のみを記載した荒田目部落会の回覧板、新聞記事、そしてさまざまな情報に基づく戦況メモなどである。戦後間もないころと想定するが、村内から出征した兵士の復員記録(143)、志田村自治農民組合関連書類(143)、小字の地籍図(206)も貴重な地域資料といえよう。

加藤栄之丞の足跡

加藤家文書に収載する資料のほとんどは、加藤栄之丞(榮之丞)が執筆および収集したものである。栄之丞は、明治三十七年(一九〇四)一月一六日生まれ、昭和六二年(一九八七)四月一二日に享年八三歳で没している。激動の二〇世紀において、家業や公職を歴任する多忙な日々を送るなか、栄之丞は文化人としての活動も積極的におこない、自らの先祖や郷土史についての著作もたくさん書き残した。以下、加藤家文書に含まれる履歴書や委嘱状、そして栄之丞の没後に子息・加藤晴彦氏が出版された『人生山脈夢茫々―加藤栄之丞遺稿集―』(昭和六二年七月刊)を参考として、栄之丞が歩んだ足跡をたどってみたい。

加藤家の祖先について、栄之丞は大きな関心を寄せ、さまざまな資料を検証していたと見受けられる。その結果、近世後期の利惣七(天保一五・一八四四年没)、平蔵(嘉永七・一八五四年没)、平太郎(元治二・二八六四年没)、栄之助(明治三七・一九〇四年没)、久之助(昭和一九・一九四四年没)、そして栄之丞という代々の当主がわかっている。

詳しく事績のわかる栄之丞の祖父栄之助は、東大崎村(当時)の佐々木家から婿入りした人物である。栄之丞の記述によれば「人柄がよく、加藤家の基礎を築きながら組頭をやり、町村制施行後は村会議員なども務め、それでいて三味線をいじくる趣味もあつたらしい」という。また、父久之助については「若い頃から向学心に燃え、小学校を出てから

さかんに独学で勉学に励み、一方農業技術の改良と普及に関心をもち、地方の小学校や部落に出かけて講演してまわるほど農事の先覚者であった」と評している。さらに久之助は、大正二年(一九一三)四月、陸羽東線中新田駅(現JR西古川駅)の開業に際し、運送業(のち合資会社中新田合同運送店、陸前大崎通運株式会社)を開始して米穀・肥料商も手がけて成功した。

先述のとおり、明治三十七年に加藤栄之丞は、久之助の長男として誕生した。志田村立保柳尋常小学校、志田尋常小学校を卒業し、志田村立志田農業補習学校、志田実業補習学校を経て大正七年(一九一八)宮城県立農学校へ入学する。同一年(一九二二)に卒業後、父の手がける米穀・肥料商、合資会社中新田合同運送店の仕事を手伝っていたが、兵役の期間満了後の昭和三年(一九二八)に東京の第一外国語学校英語専科へ進学した。この経緯について栄之丞自身は全く述べておらず、詳しい状況は不明と言わざるを得ないが、同年末に外国語学校は「家事都合にて半途退学」し、東京の日本自動車学校速成科へ移り、翌年三月卒業との履歴が残されている。

昭和五年(一九三〇)には宮城県へ帰郷しているものと思われ、国勢調査員などの公職に就いている。第二次世界大戦が迫る昭和一五年(一九四〇)に志田村荒田目区部落会長へ選任され、それ以降より終戦まで大政翼賛会志田郡支部理事、志田郡翼賛壮年団理事(志田村団長)などを歴任する地域のリーダーであった。公職追放令で社会的には身動きがとれなかったようであるが、昭和二六年(一九五二)に解除となつて以降、先述のとおり古川市教育委員会委員、古川市議会議員、そして教育関連では宮城県高等学校PTA連合会理事、地域においても龍興院惣代(護持会会長)、荒田目神社・八幡神社氏子総代などを務めた。文化に関しては古川市図書館協議会委員、古川市文化財保護委員を長期に

わたって委嘱されている。

昭和二〇年（一九四五）から戦後改革における様子を栄之丞は、「農地解放によって約五〇町歩の小作地が取り上げられ、インフレがはげしく駅前貸家を処分して生活費に充当した」ほか、木工場、精米業、冷菓販売業、さらに野球のバットやミシン用の丸椅子製作にも乗り出したという。一方、郷土に愛着を持ち、旺盛な執筆能力によってたくさんの原稿を書いていた。古川市郷土研究会には、昭和三八年（一九六三）四月の設立から参加し、昭和五七年（一九八二）に三代目会長へ就任するなど、中心的存在として活躍する。公務や家業で多忙な日々を送るなか、次のような著作を『古川市郷土研究会会報』に寄稿した。

・「ある記録―志田村翼賛壮年団伝末記―」（一号）

・「ある記録―その頃どんな人々が―」（二号）

・「ある記録―明治末期における神社の合祀とその一考察―」（三号）

・「漫筆 萬古家記―あるパッチ族の膝栗毛第二輯―」（三号）

・「荒田目久和加羅講について」（九号） ほか多数

ちなみに栄之丞の逝去後には、会報一四号（昭和六三・一九八八年五月刊）で「加藤前会長追憶編」と題した特集が生まれ、生前の人柄や活動について詳述されている。

荒田目の記録

近現代の村落について詳しい記録を残しているのが加藤家文書の特徴といえる。とくに、戦時期は経済統制下にあつて、統計や生活実態の把握を目的とした行政調査が頻繁に実施されていたことが一連の資料から考察できる。また、注目したいのは農業および産業が人々の生活存立に不可欠であるため、明治以降に「伝統」となっていたことである。少し時代をさかのぼると、加藤久之助も志田村調査委員として関与した明治

四二年（一九〇九）の農業状態調査は当時の志田村を次のように伝えてくれる。

【加藤家文書203】※抜粋引用

（表紙） 農業状態調査

志田郡志田村長渡邊五兵衛、同書記紺野庄右衛門、同雇中川惇男、志田村調査委員門脇義雄、

同加藤久之助、同中川平三郎、宮城県属菊地忠吉、志田郡事務員伊澤謙藏

本調査ハ明治四十二年二月廿四日二初メ、同三月五日二結了ス

農業状態調査 志田郡志田村

目次

- 一、農地
- 二、農地価格
- 三、農民
- 四、地租及諸租負担ノ状況
- 五、農民一家経済ノ状況
- 六、農家負債ノ状況
- 七、田畑作ノ収支計算

〔一般ノ状況〕

宮城県志田郡志田村ハ県庁ヲ距ル北ニ拾壹里、志田郡ノ都市古川町ノ西ニ隣シ、広？東西壹里余、南北三十丁弱ニシテ耕地壹千貳百七十四町歩余、山林原野僅ニ貳拾町八反歩余、公定地価貳拾八万六千八百拾貳円余ヲ有シ、現住戸口六百六十九戸、四千二百五十九人、地勢ハ平坦ナル耕土ニシテ古川、三本木、荒雄、高倉及加美郡鳴瀬、廣原、玉造郡東大崎

ノ二町五ヶ村ニ界シ、明治廿二年町村制実施ニ際シ飯川、上中目、新堀、耳取、柏崎、齋丁、保柳、荒田目、渋井、塚目、米倉、西荒井、米袋ノ十三ヶ村ヲ合併シテ志田村ト称シ、村民総テ農業トシ耕地ニ富ムコト郡内第一位ヲ占ム、今之ヲ県内及郡内ニ比較スルコト左ノ如シ

灌漑及水害 灌漑水ハ玉造郡荒雄川大堰ヨリ合流シ、一ハ渋井川、一ハ渋川ト称シ、共ニ多田川ニ注ク、而シテ多田川出水スルトキハ其逆流ヲ受ケ、村ノ東南部即チ米袋、西荒井及飯

川一部ハ水害ヲ被ムル、年二、三回ハ免レスト雖トモ概シテ大害ヲ認メス、殊ニ渋井川堤防ノ改築ノ挙アル故、将来ニ全ク其害ヲ除クコトヲ得ヘキカ
人情風俗 ハ一般ニ質朴ニシテ業務ニ勉励ノ方ナリ

荒田目部落会の回覧板

社会における情報伝達や共有は、現在からすると「道具」は少なく、時間のかかる印象を持つ。しかし、そのなかで「回覧板」の果たした役割は極めて重要ではないだろうか。加藤家文書にたくさん含まれている回覧板からそのような問いかけを考えてみたい。

作成年代がはっきりわかるところでは、昭和一七年（一九四二）春からの文面が参考になる（2、10、45、92ほか）。いくつか見出しを挙げてみると、「肥料を分配します」「里芋の種子がきました」「お魚がきました」といった農業や食生活にかかわる情報が出てくる。また、部落会主催の元旦行事なども集落にとって重要な話題であった。一方、戦争が長期化してくると、「決戦だ！飛行機燃料をウンと獲れ 勝ち抜く甘藷（注・サツマイモ）の大増産反当六百貫！」「腹が空っては戦争にや勝てぬ 腹一杯食って食はせる麦の手入を怠るな」（124）といったスローガンも目立つようになる。

年次不明の回覧では「国民学校児童が勤労奉仕に参ります」「戦死者村葬執行ノ件」「食塩購入について」など、やはり深刻な戦争の状況に地域社会が大きな影響を受けていることが推察できる。このような情報共有のあり方と、実際に人々がどのように受け止めていたのかは計り知れないが、直接戦乱を目にしていなくとも、絶えず危機がつきまとう当時の社会が浮かび上がってくる。

東北帝国大学法文学部の援農動員・研究室疎開

地域の要職を数多く務めた加藤栄之丞であったが、履歴書を分析していくなかで少し変わった仕事をしていることに気がついた。

・昭和二〇年（一九四五）六月 東北帝国大学法文学部事務嘱託
・昭和二〇年（一九四五）一〇月 東北帝国大学法文学部事務嘱託退任

終戦間際からその直後の短期間で、また地域のなかで多くの職務を果たす栄之丞が、なぜ大学の事務嘱託を引き受けたのか。これについても栄之丞自身は全く記していないが、加藤家文書にはその詳細にふれる書類が残されていた（210―3）。最初は、昭和二〇年六月一三日、廣濱嘉雄（東北帝国大学教授、当時法文学部長）が加藤栄之丞に宛てた文書である。

【二】

拝啓 愈御清適奉賀候、陳は本学部研究室ノ疎開ニ付テハ格段ノ御高配ヲ賜ハリ奉深謝候、今般貴下ニ対シ本学部事務ヲ委嘱申上グルコトト相成、別紙辞令御送附申上候間御査収下サレ度候、尚今後共宜敷御願申上候、勿々

これによると、栄之丞は東北帝国大学法文学部の疎開に協力をしているらしく、廣濱はそれに深謝の気持ちを伝え、今回事務を委嘱するという。その辞令は加藤家文書に保存されており、実際にその仕事を

こなつたことも間違いない。昭和二八年（一九五三）に発行された『東北大学法文学部略史』に「やっさもつさの二年間」（法文学部長在職期）と題した回想を寄稿した廣濱は次のように記している。

（学徒出陣で学園には男子学生が少なくなり、また勤労働員で軍需工場・農家へ学生が派遣されている状況）この勤労働員は、後に伊勢崎の中島飛行機工場や中新田の農家に出動していたので、教室での講義は途絶えがちであった。「中略」特に中村（吉）教授が原の町（注・仙台陸軍工廠）の、石崎教授が伊勢崎の、中川教授が中新田のそれぞれ総務を担当してくれたことは、いまなお私の脳裏に新たな感激を起さしめる。（米軍の本土空襲が激化するなかで）研究室の図書や機械類の疎開が喫緊の要務と考えられるようになり、栗原郡の文字村、志田郡の三本木町、黒川郡の吉田村などでしかるべき倉庫を借りうけて、そこへ寄託することにした（後略）

この引用文で、加藤栄之丞や志田村および荒田目に触れていないが、「中新田」と「中川教授」、そして「志田郡の三本木町」に注目したい。現在のJR西古川駅は当時「中新田駅」とされており、その駅前で加藤家は運送業を経営していた。続いて、中川教授とは当時法文学部に所属していた中川善之助のことを指す。これらを通して推測できるのは、右に挙げた廣濱から栄之丞への謝意は、「中新田方面」で総務を担当した中川善之助が、運送業を手がける栄之丞と出会い、仙台から三本木町への研究室疎開について協力を要請するという流れである。

履歴書の記載とおり、栄之丞は昭和二〇年一〇月をもって事務嘱託の任を解かれている。廣濱は同月二〇日、栄之丞へ再び謝意を表する手紙を送っている。

【二】

拝啓 時下愈々御清穆之段奉賀候、陳は過般東北帝国大学法文学部へ援農動員下令アリタル際ハ一方ナラヌ御高配ニ預リ多大ノ御協力御援助ヲ辱シ、才陰ヲ以テ今回無事動員解除ノ命令ニ接シ学園ニ復帰スルコトヲ得候事、偏へニ御厚情ノ賜ト学生ハ固ヨリ教官一同モ衷心感銘罷在候、茲ニ改メテ御礼申上度如斯御座候、草々

廣濱は栄之丞へ翌月一三日に、重ねて長文にて感謝の意を表明した。

【三】

拝啓 秋冷の砌愈々御清適欣賀御事ニ存候、陳は永々御厄介相かけ居候、研究室分室及学徒動員の件も終戦と無し一段落を告げ先日引上げ申候、その節には洵に御鄭重なる御手紙いただき恐縮仕候、当方ニは早速御礼可申、その後延引致居段何とも御詫びの申様も無之次第、不悪御諒承の程希上候、さて研究室分室設置以来、或ハ動員学徒の為に、或ハ派遣教官の為に精神的且物質的の御支援に預り以御蔭無事成功裡ニその任務を達成仕候事ニ対し 法文学部として何とか御礼申さでは相済まぬ儀に有之候処、御承知の如く大学といふところは御満足の行くやうなる処置の出来ぬ窮屈至極のものに有之、甚だ失礼乍ら同封辞令のやうなる形式に於て感謝の微衷を表することと相成候に付御諒承の程願上候、尚、右金額（注・別紙にて慰労金千円を加藤栄之丞に給与）は恐らく税金関係等のことも有之、且は先般お手許ニまで御届け申上げたるものの代に流用しある等のこともあり、額面とおりに御送り致し兼ねることと存候、この事については中川教授に一切委任致居候ニ付御心安だてに同教授より内輪話を以て御了解を得ることと存候、何分宜敷御願申上候、右貴殿江御礼旁々御報国まで、末筆ながら御令閨様ニよしなに御欣声の程希上候、以上

二通の内容を要約すると、①法文学部の援農動員（学生を農村へ派遣）

の際に世話になったこと、②無事に学園（仙台）へ復帰を果たしたこと、③【二】では辞令形式の礼状となって了承を願いたい、④大学から慰労金千円を給与するとしているが、税金などの関係で額面とおりにならないことを了解してほしい、⑤慰労金については中川善之助へ委任しているので「内輪話」で了解を得たいと思っている、となる。廣濱本人も述べるように、【二】は公文書として、【三】は丁寧な文面であることもよく理解できる。

おわりに

地域史の情報がぎつしり詰まった加藤家文書の紹介を簡潔ながら述べてきた。ほかにもたくさん話題があり、今後さらなる研究が進むなかで貴重な成果が送り出していきたい。二〇世紀の歴史は、「少し前」という感覚はあるものの、実際に地域の詳細がわかる歴史資料は豊富とはいえない。そのなかで、加藤栄之丞という人物が歩んだ足跡とともに、その時々大切に認識した文書がこのように公開されることは極めて喜ばしい限りである。

謝辞

本稿を執筆するにあたり、大崎市教育委員会文化財課の皆様には多くの支援をいただいた。とりわけ、同課の佐藤優、菊地優子両氏には細部にわたる丁寧なご助言を賜ることができた。また、東北帝国大学法文学部の歴史に関しては、加藤諭氏（東北大学史料館准教授）から貴重なご教示を得た。末筆ながら、関係各位に深く謝意を申し上げます。

目 録

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
1	1			十二月五日	お知らせ (門脇タマヨさん葬儀につき)	状	会長 (印)、志田村荒田目部落 (印)	各位	1-1・2糊付
1	2			十一月卅日	■ < 回 > 覧板 (十二月常會ノオ知ラセ)	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		破損あり
2	1		1942	(昭和17年) 三月三十日	大東亜戦争完遂・翼賛選挙貫徹運動村民大会並ニ移動映画会開催ニ就テ	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		2-1 ~ 8糊付
2	2		1942	(昭和17年) 三月廿四日	俵菰・梶俵下検査日通知、馬鈴薯作付区別割当の通知	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		
2	3		1942	(昭和17年) 四月三日	四月常會ノオ知ラセ	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		
2	4		1942	(昭和17年) 四月七日	(明)八日肥料ヲ分配シマス	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		
2	5		1942	(昭和17年) 四月十二日	(里)芋の種子が来ました)	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		
2	6		1942	(昭和17年) 四月十二日	農業経営申告について	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		
2	7		1942	(昭和17年) 四月廿二日	(お魚が来ました)	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		
2	8		1942	(昭和17年4月12日)	戦捷第二次祝賀のお知らせ	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		
3				九月十一日	回覧板 (今日は金属類特別回収の日です)	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		上部欠落
4				五月廿一日	六月常會緊急繰上げについて	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		反故紙使用。裏面は「組合貯蓄台帳」の未記入用紙
5	1			7月18日	至急 回覧板 (臨時常會のお知らせ)	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		5-1・2糊付、一部欠落
5	2			7月6日	至急 回覧板 (日支事変記念日について)	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		一部欠落
6	1			四月十八日	至急 臨時常會のお知らせ	状	(印)、志田村荒田目部落 (印)		6-2と本文同じ。反故紙利用。裏面は「国民健康保険組合」の「流行性感冒ノ予防要項」

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
6	2			四月十八日	至急 臨時常会のお知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		6-1と本文同じ。「(へ)紙利用。裏面は「(へ)心身鍛錬」など記載あり
7	1			八月十五日	至急 村義勇隊長より左記の通知に接しました(通牒)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		7-2と本文同じ。末尾に「天和定治様、伊藤雄一 郎様」宛短文あり。裏面は「組合貯蓄台帳」未記入用紙。
7	2			八月十五日	至急 村義勇隊長より左記の通知に接しました(通牒)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		7-1と本文同じ。裏面未記入用紙。
8			1942	(昭和17年) 七月七日	英靈感謝米英撃滅戦意昂揚必勝祈願祭ニ就テ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		反故紙利用。裏面は「志田翼壮六月常会第五号(昭和一七、六、二七)」の通達報告、協議懇談資料
9	1			九月十二日	回覧板 (政府買上米包装ニ関スル件)	状	南部班長・加藤梁善	各位	9-1～11糊付
9	2			九月二日	回覧板 (九月常会のお知らせ)	状	南部班長・加藤梁善	各位	
9	3			九月廿七日	回覧板 (羨孤並ビニ棧俵下検査ヲ致シマス(ほか))	状	南部班長・加藤梁善 (印、志田村荒田目部落 會印)	各位	破損あり
9	4			(9月)	(通知、児童生徒ノ服装・小遣錢につき)	状	国民学校	各父兄	
9	5			十一月十二日	回覧板 (戦死者村葬執行ノ件通知)	状	南部班長・加藤梁善 (印、志田村荒田目部落 會印)	各位	
9	6			(10月)	回覧板 (十一月常会ノお知らせ)	状	南部班長・加藤梁善 (印、志田村荒田目部落 會印)	各位	
9	7			十月一日	回覧板 (十月の常会を開きます(ほか))	状	南部班長・加藤梁善 (印、志田村荒田目部落 會印)	各位	

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表題	形態	差出人	宛先	備考
9	8			十月	九		至急 回覧板 (臨時常会のお知らせ)	状	南部班長・加藤梁善 (印、志田村荒田目部落 會印)		
9	9			十月	十三		回覧板 (臨時常会開キマス)	状	南部班長・加藤梁善	各位	
9	10			十月	廿二		至急 回覧板 (煎子及ビ昆布配給致シマス)	状	南部班長・加藤梁善		
9	11			二十九			至急 回覧板 (班常会の通知)	状	南部班長・加藤梁善	各位	
10	1		1942	(昭和17年)	十二	三十	至急 十八年元旦行事について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		10—2と本文同じ
10	2		1942	(昭和17年)	十二	三十	至急 十八年元旦行事について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		10—1と本文同じ
11	1			十月	五		至急 回覧板 (国民学校児童が勤勞奉仕に 参ります(ほか))	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		11—2と本文同じ
11	2			十月	五		至急 回覧板 (国民学校児童が勤勞奉仕に 参ります(ほか))	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		11—1と本文同じ
12			1946	(昭和21年)	一月	二	再建第一年度の第一回常会通知 (南部班寄 附金など付表)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		裏面は「組合貯蓄台 帳」未記入用紙
13			1946	(昭和21年)	一月	二	再建第一年度の第一回常会通知 (北部班寄 附金など付表)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		裏面は「組合貯蓄台 帳」未記入用紙
14	1			一	二	七	至急 回覧板 (国民学校児童が勤勞奉仕に 参ります(ほか))	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		14—2と本文同じ。紙 面に朱書「供米完納御 礼」あり
14	2			一月	二	七	供米割当完納に就て	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		14—1と本文同じ。紙 面に朱書「供米完納御 礼」あり
15				一月	廿	五	供米完納について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		裏面は「組合貯蓄台 帳」未記入用紙
16	1		1944	(昭和19年)	一月	十九	鹿野松盛君戦病死のお知らせ (ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		16—1・2糊付
16	2		1943	(昭和18年12)	月	十六	至急 石蔵の配給があります (ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
17	1			(2月17日)	至急 折念祭について	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		17—2と本文同じ。裏面は「所有届」未記入用紙
17	2			(2月17日)	至急 折念祭について	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		17—1と本文同じ。裏面は「所有届」未記入用紙
18				二月二十一日	至急 臨時常会の知らせ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		裏面は「所有届」未記入用紙「志田村長森谷菊治郎殿宛」
19				三月一日	急告 (佐々木とめ様永眠ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		裏面は「組合貯蓄台帳」未記入用紙
20				三月五日	麦、馬鈴薯肥培講習会について(ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		21と本文同じ。裏面は「組合貯蓄台帳」用紙
21				三月五日	麦、馬鈴薯肥培講習会について(ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		20と本文同じ。裏面は「組合貯蓄台帳」未記入用紙
22				三月十三日	収搬入について(ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
23				三月十七日	トラホーム検診について(ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		裏面は「組合貯蓄台帳」未記入用紙
24			1944	(昭和19年) 三月廿七日	至急 故鹿野松盛君葬儀日取決定について(ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		裏面は「組合貯蓄台帳」未記入用紙
25			1944	(昭和19年) 三月廿九日	至急 四月繰上常会のお知らせ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		裏面は大政翼賛会宮城県支部回覧「二月の大詔奉藏日は、戦時生活総反省の日」
26				四月二日	春蒔野菜種子売ります	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
27				四月十二日	村葬のお知らせ・馬鈴薯生産割当確保について	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
28	1			四月十四(日)	至急 米英撃滅戦場精神昂揚移動映画会・供出米集荷二就テ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		28—2と本文同じ
28	2			四月十四日	至急 米英撃滅戦場精神昂揚移動映画会・供出米集荷二就テ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		28—1と本文同じ

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表題	形態	差出人	宛先	備考
29	1		1946	(昭和21年)	四月	十六日	臨時種痘のお知らせ・佐々木医院からの知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		29—1・2糊付
29	2		1946	昭和二十一年	三月		国民健康保険利用のお奨め	状	宮城県志田郡中新田駅 前・佐々木医院	隣組長様	
30	1			四月	十七日		至急 神社春季祭典について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		30—2と本文同じ
30	2			四月	十七日		至急 神社春季祭典について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		30—1と本文同じ
31				四月	廿四日		至急 臨時常会の知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		裏面「組合貯蓄台帳」 未記入用紙
32	1			五月	一日		五月常会のお知らせ・供出米について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		32—2と本文同じ
32	2			五月	一日		五月常会のお知らせ・供出米について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		32—1と本文同じ
33				五月	三日		至急 五月常会の知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
34			1943	(昭和18年)	五月	九日	春の衛生検査について・ネルの自由販売について	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		裏面「所有届・車」用 紙
35			1946	(昭和21年)	五月	十六日	拵奪品の没収及報告について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
36				五月	十五日		お知らせ(佐藤さだ子様葬儀につき)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
37				五月	十八日		至急 食塩購入についてお知らせ(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
38			1944	(昭和19年)	五月	廿六日	六月の常会繰上げについて(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
39				六月	16日		至急 回覧板(今晚常会を開きます)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
40	1			六月	22日		回覧板(肥料空収回収供出ノ件(ほか))	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		40—2と本文同じ
40	2			六月	22日		回覧板(肥料空収回収供出ノ件(ほか))	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		40—1と本文同じ
41				六月	廿九日		七月常会のお知らせ(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
42			1944	(昭和19年)	七月	一日	表彰状授与について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差出人	宛先	備考
43			1946	(昭和21年) 七月二日	七月常会期日繰下げについて	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
44	1			7月4日	回覧板 婦人常会のお知らせ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		44—1・2糊付
44	2			7月2日	回覧板 七月常会のお知らせ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
45	1		1942	(昭和17年) 7月12日	至急 回覧板 臨時常会のお知らせ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		45—1・2糊付
45	2		1942	(昭和17年) 7月6日	至急 回覧板 日支事変記念日について	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
46				七月十四日	肥料空取並空紙袋回収ニ就テ (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		破損あり
47				七月十五日	山野草採取調理加工講習会のお知らせ (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
48				七月廿三日	至急 古川町の一流楽団と舞踊団が皆様を 趣間に参りました (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
49				七月廿七日	復員者の結核予防検査について (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		一部欠落
50				八月二日	至急 自作農創設事業懇談会開催について (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
51				八月十二日	大麦、小麦、馬鈴薯供出の完納に就て	状			朱書「お互ひにしのび 難きをしのんでこそ日 本再建ができるのだ」 などあり
52				八月十七日	糠供出割当及ビ伐採協力方ニ就テ (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		末尾に「御英靈出迎ニ 關スル件」あり
53				八月廿三日	滅敵浪曲大会開催について (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
54				八月廿四日	急 九月ノ練上常会通知 (南部班同胞援護 急寄附割付表あり)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
55				八月廿七日	生活費としての証明書発行停止について (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
56				九月二日	常会のお知らせ	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		
57				九月十五日	戦時食糧対策協議会ニ就テ (ほか)	状	(印、 會印) 志田村荒田目部落		裏面「組合貯蓄台帳」 未記入用紙

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表題	形態	差出人	宛先	備考
58				九月十五日			回覧板(今年度ノ歩刈調査日割ヲ左ノ通り定リペシタ(ほか))	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
59				九月十七日			至急 歩刈調査の知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
60	1			10月1日			回覧板 軍人援護強化運動について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		60—2と本文同じ
60	2			10月1日			回覧板 軍人援護強化運動について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		60—1と本文同じ
61				十月一日			十月常会のお知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		裏面「組合貯蓄台帳」 未記入用紙
62				10月7日			回覧板 サイレンが鳴ります(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
63				十一月十三日			臨時常会のお知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
64				十一月十八日			回覧板(臨時常会ヲ開キマス(ほか))	状	南 部 班 長 ・ 加 藤 梁 善 (印、志田村荒田目部落 會印)	各位	
65				十二月三日			至急 十二月常会開催日変更のお知らせ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
66	1			十二月十二日			至急 臨時常会開催ノオ知ラセ	状	(印、志田村荒田目部落 會印)	各位	66—1・2糊付
66	2			十二月十六日			至急 臨時常会ノ知ラセ(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
67				十二月二十日			軍免供出ニ関スル件(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		
68	1			1946(昭和21年) 十二月廿日			戦災者に対する夜具地特配について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		68—2と本文同じ
68	2			1946(昭和21年) 十二月廿日			戦災者に対する夜具地特配について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		68—1と本文同じ
69				十二月廿四日			鑑札交付ニ就テ(自転車及ビ附属車、ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		72と本文同じ
70	1			1943(昭和18年) 十二月廿九日			大祓について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		70—2と本文同じ
70	2			1943(昭和18年) 十二月廿九日			大祓について(ほか)	状	(印、志田村荒田目部落 會印)		70—1と本文同じ

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
71				一月十一日	至急 臨時常会のお知らせ	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
72				十二月廿四日	鑑札交付ニ就テ (自転車及ビ附属車、ほか) か)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		69と本文同じ
73	1		1943	(昭和18年) 十二月七日	至急 明日は十二月八日で大東亜戦争第二 周年記念日です (項目一〜三)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
73	2		1943	(昭和18年) 十二月七日	至急 明日は十二月八日で大東亜戦争第二 周年記念日です (項目一〜四)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
74				十二月一日	鹿野松盛君応召祈願祭について (玉かん)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
75	1			十二月十三日	至急 土地改良工事 (暗渠排水) 出役人夫 登録ニ就テ (ほか)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		75—2と本文同じ
75	2			十二月十三日	至急 土地改良工事 (暗渠排水) 出役人夫 登録ニ就テ (ほか)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		75—1と本文同じ
76				十一月廿二日	新嘗祭及び新穀感謝慰安会の御案内	状	男女部落会 (印) 志田村 荒田目部落 會印)	男女会員各位	挿絵あり
77				十一月十一日	臨時常会のお知らせ	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
78				十月二十七日	十一月常会繰上のお知らせ	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
79	1			十月廿三日	早期供出米に単俵供出が許可になりました	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		79—2と本文同じ。破 損あり
79	2			十月廿三日	早期供出米に単俵供出が許可になりました	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		79—1と本文同じ
80				十月四日	本年度産米調製発動機指定ニ就テ (玉かん)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
81				九月廿八日	至急 十月常会繰上開催お知らせ	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		82と本文同じ
82				九月廿八日	至急 十月常会繰上開催通知	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		81と本文同じ
83				十月十七日	村葬執行のお知らせ (玉かん)	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
84				十月八日	至急 南部回覧板 緊急臨時常会のお知らせ	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		
85				九月二日	九月常会のお知らせ	状	(印) 志田村荒田目部落 會印)		

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
86				八月二十八日			川島はるの様死亡のお知らせ (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
87				八月二十八日			出征御家族慰安会延期について (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
88				八月廿一日			至急 映画会開催ニ就テ (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
89	1			八月十三日			至急 臨時常会の知らせ	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		89—2と本文同じ
89	2			八月十三日			至急 臨時常会の知らせ	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		89—1と本文同じ
90				七月廿七日			至急 八月常会繰上開催のお知らせ	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
91				八月十一日			志召兵出発日時御知らせ (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
92		1942	(昭和17年)	七月七日			英靈感謝米英撃滅戦意昂揚必勝祈願祭ニ就 テ (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
93	1			六月廿四日			菰ノ供出枚数不足ニ就テ (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		93—2と本文同じ
93	2			六月廿四日			菰ノ供出枚数不足ニ就テ (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		93—1と本文同じ
94	1			六月廿日			藁買ヒ人ガ来マス (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		94—2と本文同じ。藁 面は志田翼社六月常会 文書 (昭和17. 6. 27)
94	2			六月廿日			藁買ヒ人ガ来マス (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		94—1と本文同じ。藁 面は志田翼社六月常会 文書 (昭和17. 6. 27)
95				6月16日			至急 回覧板 今晚常会を開きます	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
96				6月30日			至急 回覧板 大祓式について	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		左上欠落
97	1			五月七日			塵埃灰の申込について (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		97—1～3糊付
97	2			五月一日			五月常会のお知らせ (四月分国債及び海洋 道場建設寄附金割当表付き)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		
97	3			四月廿五日			苗代消毒をやって下さい (ほか)	状	(印)、志田村荒田目部落 會印)		

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
98				二月十四日	戦況座談会 (お知らせ)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		99—1と本文同じ
99	1			二月十四日	戦況座談会 (お知らせ)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		99—1・2糊付。98と本文同じ
99	2			二月十二日	精農家養成講習会について (ほか)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		
100				十二月廿六日	至急 臨時常会の知らせ	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		
101	1			十二月廿一日	村葬ノお知らせ	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		101—2と本文同じ
101	2			十二月廿一日	村葬のお知らせ	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		101—1と本文同じ
102				十一月廿九日	至急 現役兵応召兵出發日時について (南部班債券割当表ほか)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		103と本文同じ
103				十一月廿九日	至急 現役兵応召兵出發日時について (南部班債券割当表ほか)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		102と本文同じ
104				十一月二日	回覧板 十一月常会のお知らせ (北部班奉公会寄附金割当表ほか)		(印、 志田村荒田目部落 會印)		破損あり
105	1			10月13日	回覧板 公用兵出發通知 (ほか)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		105—2と本文同じ
105	2			10月13日	回覧板 公用兵出發通知 (ほか)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		105—1と本文同じ
106				九月十五日	回覧板 今年度の歩判調査日割が左の通り 定りました (ほか)	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		
107	1			1945 (昭和20年)	昭和十九年度米供出高各人別調 (南部班・北部班)	綴			裏面は「志田郡志田村郷報」
107	2			1945 (昭和20年)	(南部班・北部班米保有量家毎調)	綴			裏面は「志田郡志田村郷報第5号」
107	3			1945 (昭和20年)	(南部班・北部班米割当家毎調)	綴			裏面は「志田郡志田村郷報第5号」か、
107	4			1945 (昭和20年)	(米三三石・八三俵勘定メモ)	状			裏面は「移出検査成績書 申請人加藤久之助」未記入用紙
108	1			1941 (昭和16年)	今度米ノ検査ヲ受ケタ場合ハ必ず確認証明書ト云フモノヲ検査員カラ貰ツテ下サイ	状	(印、 志田村荒田目部落 會印)		108—1～8糊付

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備考
108	2		1941	(昭和16年)	十二月	二十日	軍免供出ニ関スル件 (ほか)		状	(印)、志田村荒田目部落 會印)			
108	3		1941	(昭和16年)	十二月	十六日	至急 臨時常会ノ知ラセ (ほか)		状	(印)、志田村荒田目部落 會印)			
108	4		1941	(昭和16年)	十二月	十二日	至急 臨時常会開催ノ知ラセ		状	(印)、志田村荒田目部落 會印)	各位		
108	5		1941	(昭和16年)	十一月	卅日	回覧板 十二月常会ノ知ラセ (十二月国 債割当統後奉公会寄附金割当表付き)		状	(印)、志田村荒田目部落 會印)			
108	6		1941	(昭和16年)	十一月	廿三日	回覧板 新嘗祭ニ就テ (ほか)		状	(印)、志田村荒田目部落 會印)			
108	7		1941	(昭和16年)			回覧板 新嘗祭ヲ迎ヘルニ当ツテノ県民実 践事項		状	大政翼賛会宮城県支部			
108	8		1941	昭和十六年	十月		回覧板 国債、債券は戸毎に		状	大政翼賛会宮城県支部			
109				(昭和・年月日未詳)			(木製ノサインダー)		板				1～108の回覧板用
110			1940	(昭和十五年)	十月	一日	常会合規範		冊	宮城県志田郡志田村			表紙に「荒田目区部落 会長用 (印、志田村荒 田目部落會印)」とあ り
111	1		1942	(昭和17～20年)			村常会通達書類綴 (第16～60号)		綴	荒田目部落会			
111	2		1942	(昭和17～20年)			「家庭教育要綱案」説明要項		状				111—1挟み込み
112	1		1940	(昭和15～16年)			村常会通達書類綴 (第1～15号)		綴	荒田目部落会			
112	2		1940	(昭和15～16年)			米陸軍ノ階級種別		状				112—1挟み込み
112	3		1943	昭和十八年)	三月	十一日	(努力不足対策報告)		状	志田村農会長・門脇又三 郎			112—1挟み込み。裏面 に「昭和十九年十一月 三日・志田村民体育練 成大会出場者名簿」あ り
112	4		1944	昭和十九年)	五月		食糧増産の誓		状	部落会員一同			112—1挟み込み。116 —18と本文同じ
112	5		1944	(昭和19年)			昭和十九年度国民貯蓄割当表		状				112—1挟み込み

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
112	6		1944	昭和十九年二月	貯蓄総力發揮期間設定に就て	状	宮城県		112—1挟み込み。裏面に「三月二十七日志田村婦人常会々々議事項」あり
112	7		1944	昭和十九年九月三日	荒田目部落会常会進行順序	状	(印)、志田村荒田目部落會印)		112—1挟み込み
113	1		1946	昭和二十一年	村常会々々議事項	綴	(印)、志田村荒田目部落會印)		
113	2		1946	(昭和21年)	選挙は選挙人皆さんの自由な意思で 選挙法の罰則に関する御注意	状	宮城県警察部、仙台地方裁判所検事局		113—1挟み込み
113	3		1946	昭和廿一年一月三日	常会進行順序	状	(印)、志田村荒田目部落會印)		113—1挟み込み
114			1941	(昭和16年度)	昭和十六年度 常会記録簿	冊	志田郡志田村・荒田目区部落会 (印)、志田村荒田目部落會印)		
115			1942	(昭和17年度)	昭和十七年度 常会記録簿	冊	志田郡志田村・荒田目区部落会 (印)、志田村荒田目部落會印)		
116	1		1940	昭和十五年十一月三日以降 (～昭和17年11月21日)	大政翼賛録	冊	荒田目部落会 (印)、志田村荒田目部落會印)		116—2～40を含む
116	2			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、志田郡農業増産報国推進隊支部の結成式)	状			加藤栄之丞に言及あり
116	3			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、新人十名を増員す 翼賛会の役員改選発表)	状			
116	4		1942	昭和一七、一二、四	日本の使命と自覚	状			116—5と本文同じ。書き込みあり
116	5		1942	昭和一七、一二、四	日本の使命と自覚	状			116—4と本文同じ
116	6			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、翼賛会郡市支部新常務委員)	状			
116	7		1943	昭和十八年四月九日	(河北新報記事、地主さんに負けるな 飯米をも競って供出ほか)	状	河北新報社 (宮城県下版)		
116	8		1946	昭和二十年四月二十一日	河北新報昭和二十年四月二十一日 (一・二面、斃れてなほ皇土守護ほか)	状	河北新報社		
116	9		1942	昭和一七、八、二一	大政翼賛会実践要綱	状			

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備考
116	10			(昭和・年月日未詳)			やまとばたらき図解		状	大政翼賛会			
116	11		1941	昭和十六年十一月十八日			読売新聞夕刊昭和十六年十一月十八日 (一・二面、帝国外交の三大原則東條首相 堂々闡明ほか)		状	読売新聞社			
116	12		1944	昭和十九年九月十七日			読売報知昭和十九年九月十七日(一～四 面、パナオ、モルツカ諸島侵攻ほか)		状	読売新聞社			
116	13		1942	昭和一七、一一、二三			新穀感謝祭次第		状	荒田目部落会			
116	14		1943	昭和一八、七、一五			日本の使命と自覚 大政翼賛会志田村支部 世話役世話人講習会講義要項		状	(大政翼賛会志田村支部)			
116	15		1943	(昭和18年9月15日)			(新聞記事、昭和創新の顕現へ【下】 国本 の信念に徹せよ)		状				
116	16		1943	(昭和18年9月14日)			(新聞記事、昭和創新の顕現へ【上】 関西 十学者の共同宣言)		状				
116	17		1942	昭和十七年(九月二十二 日)			文化運動指導者養成講習会次第(仙台瑞鳳 等)		状				
116	18		1944	昭和十九年五月廿七日			食糧増産の誓		状	部落会員一同(印、志田 村荒田目部落會印)			112—4と本文同じ
116	19			(昭和・年月日未詳)			大東亜共栄圏建設の指導理念		状				
116	20			(昭和・年月日未詳)			八日未明上海・英砲艦ペトレル撃沈、米砲 艦ウエイキ降伏		状				3紙1点
116	21	1		(8月)			伯林ニ対スル爆撃状況		状				
116	21	2		(7月～8月)			ハンブルグ爆撃状況		状				
116	22			(昭和・年月日未詳)			(メモ、英本土攻撃使用爆弾量(まか))		状				
116	23			(昭和・年月日未詳)			宣誓、祈詞(我等ハ翼賛尖兵ナリ)ほか)		状				
116	24			(昭和・年月日未詳)			みそぎ祝詞、翼賛の祝詞		状				
116	25		1942	(昭和十七年八月七日～昭 和十八年二月七日)			ソロモン群島、ニューギニア島附近綜合戦 果(表)		状				

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
116	26			(昭和・年月日未詳)	日本人の気宇・宏量・雄国 (ほか)	状			3紙1点
116	27	1		(昭和・年月日未詳)	目的 実践項目 一、国民精神ノ昂揚 (ほか)	状			116—27—1・2糊付
116	27	2		(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、鉄箒・野末(匂ふほか))	状			
116	28			(昭和・年月日未詳)	(日本精神論の流行ほか)	状			
116	29			(昭和・年月日未詳)	聖国の精神に徹する (ほか)	状			宮城県志田郡志田村農業会の罫紙使用
116	30		1942	昭和十七年十月十四日、十五日	時局と国民自覚 指導者講習会 (ノート)	綴			主催：日本文化聯盟、場所：日本青年館
116	31			(昭和・年月日未詳)	軍事費について	状			
116	32			(昭和・年月日未詳)	新穀感謝行事趣意書	状	大政翼賛会		
116	33	1		(昭和・年月日未詳)	石原産業海運会社社長石原廣一郎	状			4紙1点
116	33	2		(昭和・年月日未詳)	オーストラリア土人の性質と生活 (ほか)	状			3紙1点
116	34		1944	昭和十九年七月三十一日	翼壮道場神拜行事次第	冊	宮城県翼賛壮年団		綴紐が切れているため取扱注意
116	35			(昭和・年月日未詳)	祝一千号 (草稿)	状	加藤栄之丞		
116	36			(昭和・年月日未詳)	公人として心構え				
116	37			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、翼賛の詩)	状	野口米次郎		
116	38			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、尊き人生の道場 「家」の精神について(上))	状	森清人		
116	39			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、日本文化の母胎 「家」の精神について(下))	状	森清人		
116	40			(昭和・年月日未詳)	(記事、菅沼貞風)	綴	菊池寛		表紙に(印、加藤)あり
117	1		1941	昭和十六年(～昭和17年1月18日)	書類綴 (収受) 第一号	綴	大政翼賛会志田郡支部		117—2～18を含む

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表 題	形態	差 出 人	宛	先	備 考
117	2		1941	昭和十六年	六月	十七日	(新聞記事写真、輿論の窓 中央協力会議 開く)	状	読売新聞社			
117	3		1940	昭和十五年	十月	二十九日	(新聞記事 教育勅語と臣道実践 新体制 の指導原理 畏し五十年前御垂示)	状	吉田熊次			
117	4		1940	(昭和15年)	10月		(新聞記事、新体制問答1 国の為の公益優 先「赤」との本質的違ひ)	状				
117	5		1940	昭和十五年	十月	三十一日	(新聞記事、新体制問答4 法人格なき社団 憲法上の機関に非ず)	状				
117	6		1940	昭和十五年	十月	二十八日	(新聞記事、新体制問答2 各々が国家的行 動力を持った職域奉公)	状				
117	7		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答5 人と仕事の交流 政府、翼賛会の運繋)	状				
117	8		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答6 議会新党に非ず 新体制即応の姿勢)	状				
117	9		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答7 常会には衆議を尽 せ 運用の「型」近く決定)	状				
117	10		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答8 機密の保持と公 開 必要に応じて解決)	状				
117	11		1940	昭和十五年	十一月	五日	(新聞記事、新体制問答9 軍も熱烈に支持 長期、不拔の建設へ)	状				
117	12		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答10 満支を指導育 成 外地の翼賛運動展開)	状				
117	13		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答11 議会と抵触せ ず 協力会議は促進機関)	状				
117	14		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答12 不純分子の宣 伝 国民自ら審判せよ)	状				
117	15		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答13 翼賛会と政変 総裁は必然的交代)	状				
117	16		1940	(昭和15年)	11月		(新聞記事、新体制問答16 部落、町内会 指導者 中堅人物を育成せよ)	状				
117	17			(昭和・年月日未詳)			(新聞記事、文芸統後運動第一声 講演要 旨(上))	状	尾崎士郎、菊池寛、岸田 國士			
117	18			(昭和・年月日未詳)			(新聞記事、観点 新体制下の隣組)	状				
118	1		1942	昭和十七年	三月	以降(～昭 和18年12月28日)	書類綴(収受) 第二号	綴	大政翼賛会志田郡支部			118—2～4を含む

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
118	2			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、日本海軍論 上 輝く民族の偉業 比類なき躍進七十年)	状	斎藤忠		
118	3		1942	昭和十七年一月十八日	郡内各種団体長懇談会	状			
118	4			(昭和・年月日未詳)	町村経済状態基礎調査表	状			
119	1		1944	昭和十九年(1月～昭和20年6月1日)	書類綴 (收受) 第三号	綴	大政翼賛会大崎地方支部		119—2を含む
119	2		1944	昭和十九年五月十一日	常務委員会々議事項	状			
120	1		1944	昭和十九年八月一日	翼賛壮年運動第九十八号	状	大日本翼賛壮年団中央支部		
120	2		1944	昭和十九年九月一日	翼賛壮年運動第百号	状	大日本翼賛壮年団中央支部		
120	3		1944	昭和十九年十月一日	翼賛壮年運動第百一号	状	大日本翼賛壮年団中央支部		
120	4		1944	昭和十九年十月十五日	翼賛壮年運動第百二号	状	大日本翼賛壮年団中央支部		
121	1		1942	昭和十七年以降 (～昭和20年5月18日)	書類綴	綴	志田村翼賛壮年団		121—2・3を含む
121	2		1943	(昭和) 18. 10. 22	(はがき、志田郡翼壯本部を古川町大柿字七日町十六番地米城別館内へ移転につき)	状	志田郡翼賛壮年団長・米城栄一郎	志田郡志田村・加藤栄之丞様	
121	3		1943	昭和十八年十月二十三日	(はがき、団長会議開催ニ関スル件通知につき)	状	志田郡翼賛壮年団長・米城栄一郎 (印) 志田郡翼賛壮年団長印)	志田郡志田村・加藤栄之丞殿	
122	1		1942	昭和十七年一月	挺身録	冊	志田村翼賛壮年団		122—2～36を含む
122	2		1944	昭和一九・三・二〇	志田翼壯 三月臨時常会第十七号	状			122—3と本文同じ
122	3		1944	昭和一九・三・二〇	志田翼壯 三月臨時常会第十七号	状			122—2と本文同じ。書き込みあり
122	4			(昭和・年月日未詳)	中大尉血涙の遺書、奥山大尉の遺書	綴			
122	5			(昭和・年月日未詳)	富永能雄 (函館船渠会社社長) 農村に敬すよ	綴			志田村翼賛壮年団の郵便使用

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表題	形態	差出人	宛先	備考
122	6			(昭和・年月日未詳)			大東亜戦争の特異性 (まか)	綴			
122	7		1943	昭和十八年五月廿七日			晩天動員訓辞 (原稿)	状			12紙1点
122	8			(昭和・年月日未詳)			(新聞記事、国民運動の反省 鮮明なる性格を求む【中】)	状	穂積七郎		
122	9			(昭和・年月日未詳)			(新聞記事、国民運動の反省 甘い革新論を戒む【上】)	状	穂積七郎		
122	10			(昭和・年月日未詳)			(新聞記事、詩 草莽)	状	福島青史		
122	11			(昭和・年月日未詳)			(新聞記事、中核強化に邁進 権力依存主義を脱却せよ【下】)	状	穂積七郎		
122	12		1941	昭和十六年十二月十九日			合祀記念の誌	状	村社荒田目神社総代一同		
122	13			(昭和・年月日未詳)			(メモ、硫安→アソモニア→硫酸→硫安ほか)	状			
122	14			(昭和・年月日未詳)			(メモ、北方ノ千島今ノ処心配ナシ(まか)	状			
122	15		1940	昭和十五年			人種展覽会場 純血日本とは全く正反対(アメリカについて)	状			
122	16			(昭和・年月日未詳)			戦争について	状			
122	17			(昭和・年月日未詳)			十一月十九日大本営海軍報道部濱田昇一中佐・飛行機月産数 (まか)	状			
122	18			(昭和・年月日未詳)			国内指導について—啓発宣伝 (まか)	状			2紙1点
122	19			(昭和・年月日未詳)			献詞	状			
122	20			(昭和・年月日未詳)			B29成都迄1トンノガソリンヲ運ブニハ5,6トン〜10トンノガソリンヲ費消スル(まか)	状			
122	21			(昭和・年月日未詳)			アメリカ 直接間接ニ戦争ニ動カシテイル人口六千五百万人 (まか)	状			
122	22			(昭和・年月日未詳)			ワシントンノ財務省ノ発表	状			

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
122	23			(昭和・年月日未詳)	食事五観	状			
122	24			(昭和・年未詳) 十二月五日	(新聞記事、日曜新論 第二の元寇役 敵米国の戦力を衝く)	状	武藤貞一		
122	25		1942	(昭和17年1月)	日・米英開戦 宣戦ノ大詔ヲ拝シテ (少国民雑誌新年号断簡)	状	小学館		
122	26			(昭和・年月日未詳)	翼賛会の改組について (ほか)	状			
122	27			(昭和・年月日未詳)	アメリカ戦闘機 ロッキードP三八、カーチスP四〇 (ほか)	状			
122	28	1		(昭和・年月日未詳)	(個人錬成より団体訓練(玉か))	状			破損あり
122	28	2		(昭和・年月日未詳)	菅沼貞風 「新日本凶南の夢」より (原稿)	状			3紙1点
122	29			(昭和・年月日未詳)	一億憤激運動について 戦争の性格	状			
122	30			(昭和・年月日未詳)	日本の使命と自覚 (メモ)	状			6紙1点
122	31			(昭和・年月日未詳)	スマール文化 (メモ)	状			
122	32			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、翼賛壮年の挺身 陣容も整ひ十六日発団式)	状			
122	33			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、翼賛壮年団結成指導員①)	状			
122	34			(昭和・年月日未詳)	(逆徒勤減の大詔を拜して早一年)	状			6紙1点
122	35			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、総選挙への要望)	状	新居格		
122	36			昭和一八・二・二八	志田翼壮二月常会第十二号	状			書き込みあり
123			1942	(昭和17年3月～昭和19年9月)	団常会使用書類綴	綴	志田村翼賛壮年団		
124	1		1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	書類綴 (送送、其他)	綴	志田村翼賛壮年団		124—2～7を含む
124	2	1	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	決戦だ！飛行機燃料をウソと獲れ 勝ち抜く甘藷の大増産反当六百貫！	状	翼壮特攻隊		

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
124	2	2	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	決戦だ！飛行機燃料をウソと獲れ！甘藷の大増産は健苗高畦式で！	状	翼壮特攻隊		
124	2	3	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	決戦だ！腹一杯食って食はせて飛行機飛ばせ！甘藷の大増産だ！	状	翼壮特攻隊		
124	2	4	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	腹が空っては戦争にや勝てぬ 腹一杯食って食はせる麦の手入を怠るな	状	翼賛壮年団		
124	3		1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	米英必滅産業戦士激励夜食用献米報告	綴			
124	4	1	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	(新聞記事、麦増産の「虎の巻」実行すれば五割増収)	状			124—4—1～5(反綴一括)
124	4	2	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	翼壮式麦栽培法 (主トシテ志田村) 要項	状	志田村翼賛壮年団本部		書き込みあり
124	4	3	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	翼壮式麦栽培法実践第一法 (主トシテ仙北地方)	状	宮城県翼賛壮年団本部		書き込みあり
124	4	4	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	翼壮麦増産栽培法実施第二法 (主トシテ志田郡)	状	志田郡翼賛壮年団本部		書き込みあり
124	4	5	1942	(昭和17年2月～昭和20年3月)	麦五千万石生産必成運動宮城県翼賛壮年団実施要領	状	(宮城県翼賛壮年団)		4紙1点
124	5		1943	昭和十八年六月二十九日	(新聞記事、東北の翼賛運動 本社主催座談会① 古い観念官尊民卑 先づ縄張り打破必要)	状			
124	6		1943	昭和十八年六月三十日	(新聞記事、東北の翼賛運動 本社主催座談会② 国民と国家結合へ 重心、新政治力の推進)	状			
124	7		1943	昭和十八年三月四日	(新聞社説、翼壮の活動分野)	状	毎日新聞社		
125			1941	昭和十六年十月	農事実行組合規約並組合員名簿	綴	荒田目農事実行組合		
126			1941	自昭和十六年一月以降 至 昭和十八年三月	農事実行組合関係 通達綴 第壹号	綴	荒田目部落会		
127			1943	自昭和十八年四月 至 同十九年三月	農事実行組合関係 通達綴 第貳号	綴	荒田目部落会		
128	1		1944	自昭和十九年四月 至 同廿一年三月	農事実行組合関係 通達綴 第参号	綴	荒田目部落会		128—2を含む
128	2	1	1940	昭和十五年八月	選種及子措・播種・施用法	状	宮城県		

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
128	2	2	1944	昭和十九年六月二十六日	昭和十九年度産米供出割当二関スル件	状	志田村農業会長・森谷菊治部 (印)	加藤栄之丞殿	
129	1		1946	(昭和21年4月～昭和22年3月)	農事実行組合関係 通達綴 (第四号)	綴	荒田目部落会農産部		129—2を含む
129	2		1946	昭和二十一年十二月二十七日	自作農創設地、小作料につひて	状	志田村農業会 (印)	荒田目実行組合長殿	
130	1		1940	自昭和十五年十一月 至昭和二十一年三月	農事実行組合肥料関係書類綴	綴	荒田目部落会		130—2～5を含む
130	2	1	1948	昭和23年7月3日	受領証 (排蓋代金1283円77銭につき)	状	志田村農業会・会長理事・伊藤好和 (印)	加藤栄之丞殿	130—2—1～5 仮綴一括
130	2	2	1948	(昭和23年)	(硫酸・過燐酸石灰など貫数・金高計算書)	状		(加藤栄之丞)	
130	2	3	1947	(昭和22年)	昭和二十一年度肥料代精算書 (南部班)	状			裏面に「第三区・東大崎村二人、第五条ノ一(組合選挙権)」などあり
130	2	4	1945	昭和二十年九月十五日	肥料代精算書	状	(印)、志田村荒田目部落會印)		裏面に「契約書 (貨物積卸貨車)」あり
130	2	5	1944	昭和十九年九月三日	肥料代精算一覧	状	(印)、志田村荒田目部落會印)		裏面に「衛生費」など記載あり
130	3		1944	(昭和19年)	昭和十九年度産米供出割当書	状	荒田目部落会		2紙1点
130	4	1	1944	(昭和19年)	昭和十九年度 春肥各人別配給明細表	状	(印)、志田村荒田目部落會印)		
130	4	2	1945	(昭和20年)	昭和二十年度 春肥各人別配給明細表	状	(印)、志田村荒田目部落會印)		
130	4	3	1946	(昭和21年)	昭和二十一年度 春肥各人別配給明細表	状	(印)、志田村荒田目部落會印)		
130	5			(昭和・年月日未詳)	(伊藤雄一郎六、六七ほか計六八七、四一計算書)	状			
131			1946	(昭和21年3月～昭和22年7月)	農事実行組合肥料関係書類綴	綴	荒田目部落会農産部		
132	1		1944	(昭和19年2月～昭和23年2月)	志田村農業会関係書類綴	綴			132—2～4を含む

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
132	2		1946	昭和二十一年三月二十一日、三月二十三日	第五号 昭和二十一年度ニ於テ本会ガ借入レ得ベキ金額ノ最高限ヲ左ノ通り定ムルモノトス (ほか)	状	志田村農業会長理事・森谷菊治郎 (印)		
132	3		1944	昭和十九年四月十七日	第六号 志田村農業会手数料徴収規程制定ノ件	状	志田村農業会長・森谷菊治郎		
132	4		1944	昭和十九年二月五日	志田村農業会設立總會招集通知	状	志田村農業会・創立委員長・森谷菊治郎 (印)	加藤栄之丞殿	
133			1941	昭和十六年八月	国民貯蓄組合規約組合員並役員名簿	綴	荒田目国民貯蓄組合		
134	1		1941	昭和十六年八月 (～昭和20年8月)	国民貯蓄組合関係書類綴	綴	荒田目部落会農産部		134—2を含む
134	2		1941	(昭和16年～17年)	荒田目国民貯蓄組合貯蓄報国一覽表	状	(印、志田村荒田目部落會印)		
135			1943	(昭和18年5月～昭和19年3月)	(国民貯蓄組合関係書類綴)	綴	(荒田目国民貯蓄組合)		
136	1		1940	昭和十五年度以降 (～昭和19年12月)	配給品関係書類綴	綴	荒田目部落会		取扱注意。136—2・3を含む
136	2		1940	(昭和15年～昭和19年)	(配給表)	綴			
136	3		1940	(昭和15年～昭和19年)	移出検査申請控 (未使用、裏面に受領証下書)	状			
137	1		1945	(昭和20年2月～昭和22年11月)	配給品関係書類綴	綴	荒田目部落会		137—2を含む
137	2		1945	(昭和20年～22年)	(メモ、二人一四人、五人一〇人など)	状			裏面は「加藤久之助送状」の未記入用紙
138			1941	昭和十六年度以降 (～昭和18年10月)	特種品配給明細表綴	綴	荒田目部落会 (印、志田村荒田目部落會印)		
139	1	1	1945	(昭和20年) 七月十六日	米配給基準調査表 (年令別人口)	状			139—1—1・2糊付
139	1	2	1945	昭和二十年八月三日	記 (八月上旬配給米代金一九二円三十八銭勘定につき)	状	志田村配給所 (印)	荒田目様	
139	2		1945	(昭和20年)	昭和廿年度供出割当 (南部班・北部班)	綴			
139	3		1945	(昭和20年)	(南部班耕作反別・推定収穫高など計算表)	状			2紙1点

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差出人	宛 先	備 考
139	4		1945	(昭和20年)	(北部班耕作反別・推定収穫高など計算表)	状			2紙1点
139	5		1945	(昭和20年)	昭和二十年度米供出一覧(南部班・北部班)	状			
139	6	1	1945	(昭和20年)	(米配給基準調査表)	状			139—6—1～5糊付
139	6	2	1945	(昭和20年)	記(六月分配給精米代金177円65銭勘定につき)	状			
139	6	3	1945	昭和二十年七月一日	記(七月上旬分配給米代金貳百貳拾貳円五十三銭勘定につき)	状	志田村配給所(印)	荒田目部落様	
139	6	4	1945	昭和20年8月13日	記(八月下半分配給米代金壹百九拾貳円三十八銭勘定につき)	状	(志田村配給所)(印)	荒田目様	
139	6	5	1945	(昭和20年) 七月十五日	(記、七月下半分配給米代金勘定につき)	状	食糧営団・古川支所		
140			1942	(昭和17年～20年)	供米関係書類	綴			
141	1		1945	(昭和20年4月～昭和22年7月)	供出関係書類綴	綴	荒田目部落会		141—2～4を含む
141	2	1	1945	昭和二〇、九、六	八月分野菜供出代精算(南部・北部計七十一円八五銭支払につき)	状			141—2—1～5糊付
141	2	2	1945	昭和20年8月28日	受領証(野菜供出九貫八〇〇匁につき)	状	保証責任志田村信用購買販売利用組合・会計(印)	荒田目北部実行組合殿	
141	2	3	1945	昭和20年8月30日	受領証(野菜供出六貫六七〇匁につき)	状	保証責任志田村信用購買販売利用組合・会計(印)	荒田目実行組合南部班殿	
141	2	4	1945	昭和20年8月21日	受領証(野菜供出一八貫六〇〇匁につき)	状	保証責任志田村信用購買販売利用組合・会計(印)	荒田目実行組合北部班殿	
141	2	5	1945	昭和20年8月21日	受領証(野菜供出二拾貫二百匁につき)	状	保証責任志田村信用購買販売利用組合・農業会・会計(印)	荒田目実行組合南部班殿	
141	3	1	1945	昭和二〇、九、二三	九月分野菜供出代精算(南部・北部合計金五三円三〇銭につき)	状			141—3—1～4糊付

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛先	備考
141	3	2	1945	昭和20年	9月	11日	受領證 (供出野菜二九貫につき)		状	保証責任志田村信用購買販売利用組合・第二農業倉庫・宮城県志田郡志田村農業会	荒田目南部班長殿	
141	3	3	1945	昭和20年	9月	11日	受領證 (供出野菜二四貫三〇〇匁につき)		状	保証責任志田村信用購買販売利用組合・第二農業倉庫	荒田目北部班長殿	
141	3	4	1945	(昭和20年)	9月		(隣組九月分)八〇貫内訳書)		状			裏面は「移出検査申請控」の未記入用紙
141	4			(昭和・年月日未詳)			(世帯別大小供出計算書)		状			
142	1			(昭和・年月日未詳)			(全国米穀生産量グラフ)		状			
142	2		1945	昭和廿二年	2月	17日	昭和十九年度米供出一覧表 (南部班・七部班隣組別)		状			
142	3		1945	(昭和20年)			昭和廿年度供米関係書類 (綴表紙)		状			142—3～8 仮綴一括
142	4		1945	(昭和20年)			(荒田目部落会戸数三戸責任供出量書上)		状			
142	5		1945	(昭和20年)			(荒田目改定供出割当書上)		状			
142	6		1945	(昭和20年)			(世帯別収穫高・差引供出量一覧)		綴			3紙1点
142	7		1945	(昭和20年)			(加藤家保有米計算書)		状	荒田目・加藤 (印)		
142	8		1945	(昭和20年)			昭和二十年産米供出割当算出表		状			
142	9		1945	昭和二〇、八、一	九		米配給基準調査表		状			142—9～12 糊付
142	10		1945	昭和廿年	八月	廿三日	記 (八月 (下) 特別調整分、精米代金六拾 巻円三十七銭勘定につき)		状	志田配給所 (印)	荒田目様	
142	11		1945	(昭和20年)			キ (精米代金巻百八拾九円四十一銭勘定に つき)		状		荒田目部落会	
142	12		1945	(昭和20年)			(九月下増配精算書)		状			

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
142	13		1945	(昭和20年)	(北部班特別調整米配給量など計算書)	状			142—13～15糊付
142	14		1945	(昭和20年)	記(精米代金百八拾九円四十一銭勘定につき)	状	志田配給所	荒田目部落会殿	
142	15		1945	(昭和20年)	(荒田目部落梗玄・糶玄精麦計算書)	状			
142	16		1945	(昭和20年)	我ガノ供米成績表(未使用)	状			印刷
142	17		1945	(昭和20年) 二月十一日	我ガ部落ノ供米成績表	状			
142	18		1946	(昭和21年)	昭和二十一年度米穀・国内食糧事後一覧	状			
142	19		1945	昭和二〇、一一、二一	昭和廿年度供米基本資料	状			
142	20		1946	(昭和21年2月)	(南部班米穀計算書)	状			
142	21		1946	(昭和21年2月)	(北部班米穀計算書)	状			
142	22		1946	(昭和21年)	(北部班供出米割当額・収穫高計算書)	状			
142	23		1946	(昭和21年)	(南部班供出米割当額・収穫高計算書)	状			
142	24		1946	(昭和21年)	(部落別農家戸数・人口・耕作反別(ほか一覽))	状			
142	25		1946	(昭和21年1月)	耕作細目書	状	志田郡志田村・佐々木金治		裏面は「部落別割合計算書」
142	26		1946	(昭和21年1月)	耕作細目書	状	福原平治		裏面は「部落別入庫表」
142	27			(昭和・年月日未詳)	(責任供出割当表、未使用)	状			裏面は「代替供出食糧米穀換算率」
142	28			(昭和・年月日未詳)	総計集計用紙(供出割当)	状	志田郡志田村役場		
142	29			(昭和・年月日未詳)	(世帯別耕作反別・予想収穫高一覽)	状			
142	30			(昭和・年月日未詳)	年齢及性別食糧保有量調	状			

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備考
142	31			(昭和)			(飯川・荒田目・石名坂実収高計算書)		状				
142	32			(昭和)			(断簡、基本財産造成ヒなど子算書)		状				
142	33			(昭和)			(北部班米穀計算書)		状				
142	34			(昭和)			(南部班耕作反別・実耕作反別計算書)		状				
142	35			(昭和)			(断簡、選挙権規則)		状				
142	36		1946	(昭和)			昭和二十一年度産米志田村各部落子想収権高算出表		状				
142	37		1946	(昭和)			昭和二十一年度産米志田村各部落子想収権高算出表		状				
142	38			(昭和)			(志田村各部落役員・人口ほか一覽)		状				
143	1		1936	(昭和)			昭和拾壹年以降・重用書類綴(表紙)		綴	荒田目自警団			143—1～56(仮綴一括)
143	2			(昭和)			自作小作農家別経営耕地面積(一覽)		状				
143	3		1945	(昭和)			昭和20年補助金(部落別一覽)		状				
143	4			(昭和)			基金明細書(下書)		状				裏面は「疏安」などメモ
143	5			(昭和)			(疏安・雑酸など数量計算書)		状				2紙1点
143	6			(昭和)			(荒田目部落会人口二九五五人内訳書)		状				「荒田目部落会」の野紙使用
143	7			(昭和)			(北部班五・六・七組家族数現在調)		状				
143	8			(昭和)			家族数現在調(南部班)		状				
143	9			(昭和)			(南部班一～四組家族数現在調)		状				
143	10			(昭和)			(北部班五・六・七組家族数現在調)		状				

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
143	11			(昭和・年月日未詳)	(銅製剤・大豆油展着剤など員数・金額一覽)	状			
143	12			(昭和・年月日未詳)	(世帯別米数量一覽)	状			2紙1点
143	13		1945	昭和廿六年六月廿二日	受領証(第一回調節米代金八拾九円拾壹錢につき)	状	志田村農業会・販売係 (印)	荒田目部落会殿	143—13～14糊付
143	14		1945	(昭和20年)	昭和廿年部落非常米配給明細	状			
143	15			(昭和・年月日未詳)	農業現在調(銅製剤・クボイトなど数量一覽)	状			2紙1点
143	16			(昭和・年月日未詳)	前橋式能率耕作機使用法解説書	冊	財団法人常民生活科学技 術協会		
143	17			(昭和・年月日未詳)	(大豆展着剤など数量一覽)	状			2紙1点
143	18			(昭和・年月日未詳)	食糧問題解決の鍵 我国農業に最も適した 前橋式能率耕作機	状	財団法人常民生活科学技 術協会		
143	19		1941	昭和十六年九月	農業統制規程例	冊	宮城県経済部、宮城県農 会		
143	20		1944	昭和十九年	臨時総会決議録(案)	状			3紙1点
143	21			(昭和・年月日未詳)	(荒田目南部・北部両班世帯別水田耕作案 別・苗代反別一覽)	状			
143	22		1948	昭和二三、一〇、一	昭和二十三年度米供出割当数量修正申請	状			
143	23		1948	昭和二三、一〇、一	昭和二十三年産米供出割当数量修正申請	冊			
143	24			(昭和・年月日未詳)	(断簡、罫紙未使用)	状			
143	25			(昭和・年月日未詳)	北部本年供出割り(世帯別一覽)	状			143—25～26(仮綴一括)
143	26			(昭和・年月日未詳)	(南部班調整米割当量(ほか世帯別一覽))	状			
143	27			(昭和・年月日未詳)	(南部班米穀計(算書))	状			
143	28			(昭和・年月日未詳)	(村内復員者一覽)	状			

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備考
143	29			(昭和)		未詳)	(伊藤久義	陸軍一等兵復員記録)	状				143—29～46(反綴一括)
143	30			(昭和)		未詳)	(今野悦男	陸軍一等兵復員記録)	状				
143	31			(昭和)		未詳)	(伊藤文一	陸軍二等兵復員記録)	状				
143	32			(昭和)		未詳)	(加藤精二	陸軍上等兵復員記録)	状				
143	33			(昭和)		未詳)	(加藤善男	陸軍上等兵復員記録)	状				
143	34			(昭和)		未詳)	(加藤禮治	陸軍一等兵復員記録)	状				
143	35			(昭和)		未詳)	(加藤榮太郎	陸軍上等兵復員記録)	状				
143	36			(昭和)		未詳)	(川島清司	陸軍騎兵伍長復員記録)	状				
143	37			(昭和)		未詳)	(川島知一	陸軍山砲<ㇿ>少尉復員記録)	状				
143	38			(昭和)		未詳)	(鴫田正男	陸軍歩兵曹長復員記録)	状				
143	39			(昭和)		未詳)	(高橋誠	陸軍二等兵復員記録)	状				
143	40			(昭和)		未詳)	(高橋安治	陸軍上等兵復員記録)	状				
143	41			(昭和)		未詳)	(菅原捨吉	海軍上等兵曹復員記録)	状				
143	42			(昭和)		未詳)	(中川豊藏	陸軍上卜兵復員記録)	状				
143	43			(昭和)		未詳)	(中川豊吉	陸軍兵長復員記録)	状				
143	44			(昭和)		未詳)	(伊藤長藏	陸軍砲兵軍曹復員記録)	状				
143	45			(昭和)		未詳)	(大和正司	陸軍上卜兵復員記録)	状				
143	46			(昭和)		未詳)	(千葉真幸	陸軍上等兵復員記録)	状				

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
143	47			(昭和・年月日未詳)	(三尺四寸・一ほか寸法・数量計算表)	状			「志田村荒田ノ目自警団」の郵便使用
143	48			(昭和・年月日未詳)	(土台・柱・クダ寸法書)	状			143—48～51仮綴一括
143	49			(昭和・年月日未詳)	(土台・柱・敷柳ほか寸法・数量書)	状			
143	50			(昭和・年月日未詳)	高橋列一郎殿第三回分(材木計三十本計算書)	状			
143	51			(昭和・年月日未詳)	(タルキ伐採数量計算書)	状			
143	52			(昭和・年月日未詳)	志田村自治農民組合綱領・規約	状			
143	53			(昭和・年月日未詳)	志田村自治農民組合綱領・規約	状			裏面に氏名メモあり
143	54			(昭和・年月日未詳)	志田村自治農民組合綱領・規約	状			裏面に氏名メモあり
143	55		1937	(昭和12年)	昭和十二年度米生産統計調査区別一覧表	状			
143	56		1936	(昭和11年)	昭和十一年度米生産統計調査結果一覧表	状	志田村		
144			1944	昭和十九年四月廿六日	軍事援護強調週間 応召家庭訪問記(保柳)	冊			
145	1		1944	昭和十九年十月六日	軍事援護強調週間 家庭訪問記(米倉、西荒井)	冊			
145	2	1	1944	(昭和19年)	睦立辨保整会 軍人家遺族家庭訪問実施計画表	状			
145	2	2	1944	(昭和19年)	(氏家勳兵エ(ほか12人氏名・生年月日一覽)	状			
146			1946	(昭和21年6月～昭和22年3月)	恩賜財団同胞援護会志田村分会関係書類綴	冊	同胞援護会 志田村分会 長・門脇力	加藤栄之丞殿	
147			1941	(昭和16年11月～昭和22年9月)	昭和十五年年度以降 一般受領書類綴	綴	荒田目部落会		取扱注意
148	1		1940	(昭和15年10月～昭和19年11月)	自昭和十五年年度以降・至同十九年 一般報告及申込控綴	綴	荒田目部落会		148—2～4を含む
148	2			(昭和・年月日未詳)	(練馬、理想、美濃早生大根種子代金参円拾銭計算書)	状			裏面は「移出検査申請控」の未記入用紙

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
148	3		1944	(昭和19年)	昭和十九年度甘藷生産割当表(南部班)	状			
148	4		1944	(昭和19年)	(昭和十九年度北部班甘藷割当生産割当表)	状			
149	1		1943	(昭和18年11月～昭和21年12月)	報告、申込其他一般控 書類綴	綴	荒田目部落会		149—2を含む
149	2		1945	昭和廿年一月十八日	春蒔蔬菜種子申込	状			
150			1944	(昭和19年3月～昭和20年3月)	自昭和十九年四月・至同二十年三月 通達綴(第参号)	冊	荒田目部落会		
151			1945	(昭和20年4月～昭和21年3月)	自昭和二十年四月・至同二十一年三月 通達綴(第四号)	綴	荒田目部落会		
152			1943	(昭和18年) 四月廿八日～八月七日	(荒田目部落会・翼壮団・婦人会講話日誌)	綴	(加藤栄之丞)		
153	1		1944	(昭和19年4月～昭和23年3月)	岩出山大堰普通水利組合関係書類綴	綴			153—2を含む
153	2		1948	(昭和23年)	(各部落合計四五二計算書)	状			志田郡志田村役場の郵便を使用
154	1		1948	昭和廿三年四月六日	岩出山大堰普通水利組合選挙人名簿	冊			154—2～5を含む
154	2		1948	(昭和23年4月)	(荒・伊藤雄蔵、保柳・古内岩之助ほか氏名一覽)	状			3紙1点
154	3		1948	昭和廿三年四月三日	(岩出山大堰普通水利組合会議員被選挙人加藤栄之丞君推薦状)	状	責任者・志田村荒田目字川下二一・加藤梁善	福原清治殿	154—4と内容は同じ
154	4		1948	昭和廿三年四月三日	(岩出山大堰普通水利組合会議員被選挙人加藤栄之丞君推薦状)	状	責任者・志田村荒田目字川下二一・加藤梁善	佐藤常五郎殿	154—3と内容は同じ
154	5	1	1948	昭和廿三年四月三日	(岩出山大堰普通水利組合会議員被選挙人菅原好雄君推薦状)	状			154—5—1・2(反綴一括)
154	5	2	1948	昭和二十三年三月三十日		状			
155				(昭和・年月日未詳)	志田郡地主会協議事項	冊			
156			1933	昭和八年拾一月廿日	米統計調査結果一覽表	綴	荒田目第一二号調査区調査員		
157			1934	昭和九年拾一月	米生産統計調査結果一覽表	綴	荒田目第一二号調査区調査員		

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
158			1935	昭和拾年拾壹月	米生産統計調査結果一覧表	綴	荒田目第一二号調査区調査員		
159			1936	昭和拾壹年拾一月	米生産統計調査結果一覧表	綴	荒田目第一二号調査区調査員		
160			1937	昭和拾貳年拾壹月	米生産統計調査結果一覧表	綴	荒田目第一二号調査区調査員		
161			1943	昭和十八年六月	自小作之部耕作細目書	冊	荒田目部落会 (印)		
162			1943	昭和十八年六月	所有者別之部耕地細目書	冊	荒田目部落会 (印)		
163	1		1945	(昭和20年9月～昭和21年10月)	宮城県未利用資源粉食協会関係書類綴	綴			163—2～9を含む
163	2		1945	昭和20年6月4日	常務委員会開催ノ件 (裏面に「食生活虎の巻」あり)	状	大政翼賛会志田郡支部長・守安信蔵 (印)	志田郡支部常務委員殿	
163	3		1946	昭和21. 10. 25	粉食情報第一号	状	宮城県庁内・宮城県粉食協会		
163	4		1946	昭和廿一年八月五日	證 (立替金・荷ホトキ検査料など合計金九百参拾四円九拾銭請求につき)		志田郡志田村・加藤栄之丞 (印)	宮城県粉食協会御中	
163	5		1946	昭和二十一年八月五日	受領書 (家庭製粉機代金式百四拾六円につき)	状	宮城県粉食協会・会長・一力次郎 (印)	加藤栄之丞殿	
163	6		1946	(昭和21年)	配達指示書 (頒布2000台につき)	状			
163	7		1946	(昭和21年3月)	(家庭用製粉機配給関係綴)	綴			電報送達紙、ハガキを含む
163	8		1946	(昭和21年)	製粉協会関係収支明細書	状			
163	9			(昭和・年月日未詳)	杉山代議士 粉食について	状			2紙1点
164	1		1946	昭和廿一年	(封筒、食糧危機突破関係書類)	状	荒田目部落会 (宮城県志田郡志田村役場)		
164	2		1946	昭和廿一年六月	飯米配給台帳	冊	食糧危機突破臨時部落管理米配給所		
164	3	1	1946	昭和廿一年八月廿二日	受領書 (米拾俵運搬賃金貳拾円につき)	状	伊藤豊雄 (印)	荒田目部落会長・加藤栄之丞殿	164—3—1～5 仮綴一括
164	3	2	1946	昭和二十一年五月	受領証 (米五〇俵運搬賃金五拾円につき)	状	伊藤豊雄 (印)	荒田目部落会長殿	

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛先	備考
164	3	3	1946	昭和二十一年	六月	二十八日	(配給米決済金額通知・受領証)		状	志田村役場米穀係・鈴木平 (印)	荒田目・加藤栄之丞殿	
164	3	4	1946	昭和二十一年	八月	十四日	受領書 (管理米整理・運搬代金拾円につき)		状	佐藤英男 (印)	荒田目部落会長・加藤栄之丞殿	
164	3	5	1946	昭和二十一年	七月	廿二日	受領書 (対策委員会手当金六拾六円につき)		状	門脇菊二郎 (印)	食糧危機突破対策委員会・加藤栄之丞殿	
164	4		1946	昭和二十一年	六月	二三	各戸配給量 (対策委員会決定)		冊			
164	5	1	1946	昭和二十一年			立替米覚		状			164-5-1 ~ 3(仮綴一括)
164	5	2	1946	昭和二十一年			供出に依り飯米不足農家対処米処分明細書		状			
164	5	3	1946	昭和二十一年			自治管理米現在高明細		状			
164	6	1	1946	昭和二十一年			代替品受領覚		状			164-6-1 ~ 5(仮綴一括)
164	6	2	1946	昭和二十一年			中川製三郎管理米内入控		状			
164	6	3	1946	昭和二十一年			木村をくま管理米内入控		状			
164	6	4	1946	昭和二十一年			食糧危機突破部落管理米集荷明細書		状			
164	6	5	1946	昭和二十一年	五月	二六	部落自治管理米割当表		状			2紙1点
164	7	1	1946	昭和二十一年			還元米関係 (収支差引残金35円62銭勘定書)		状			164-7-1 ~ 3(仮綴一括)
164	7	2	1946	昭和二十一年			白員関係 (収支指引残金184円77銭勘定書)		状			
164	7	3	1946	昭和二十一年			一般配給関係 (収支指引残金488円26銭勘定書)		状			
164	8	1	1946	昭和二十一年			(北部班金巾・タベット作業シャツ割当書)		状			164-8-1 ~ 2(仮綴一括)
164	8	2	1946	昭和二十一年	八月	廿二日	第二回報賞物資割当基準		状			
164	8	3	1946	昭和二十一年	十一月	廿六日	収入金明細書		状			

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
164	8	4	1946	昭和廿一年十一月七日	調整米現品明細書	状	(印、加藤)		
164	8	5	1946	昭和廿一年十一月七日	昭和廿一年度部落食糧危機突破調整米配給高明細書	状	(印、加藤)		
164	8	6	1946	昭和二十一年十一月七日	配給品残高明細書	状	(印、加藤)		
164	8	7	1946	(昭和21年)	(伊藤雄蔵過渡分入金メモ)	状			
164	8	8	1946	昭和二一、九	部落調整米代金決算書	状			2紙1点
164	8	9	1946	(昭和21年)	補給米其他受配控	状			
164	8	10	1946	昭和廿一年七月廿五日	契約控 (昆布五貫・七俵につき)	状			裏面は「人口調査申告書」用紙
164	8	11	1946	昭和二十一年八月十九日	他部落供出米代金精算控	状	保柳第三部落会長		
164	8	12	1946	昭和廿一年八月七日	記 (移出調整米七斗七升通知につき)	状	荒田目部落会長・加藤栄之丞	保柳第三部落会長・福原政志殿	
164	8	13	1946	昭和二十一年七月十八日	受領証 (上紺織など四三反半代金五百六拾四円八銭につき)	状	志田村農業会 (印)	荒田目農事実行組合御中	
164	8	14	1946	(昭和21年)	(南部班上紺織など割当書)	状			
164	8	15	1946	(昭和21年)	(北部班上紺織など割当書)	状			
164	8	16	1946	昭和二十一年八月一日	第一回反物類報奨物資割当基準	状			
164	8	17	1946	(昭和21年)	酒報賞 (奨) 物資割当基準	状			
164	8	18	1946	昭和二一、一一、七	(計算メモ)	状			裏面は「移出検査成績書」用紙
164	8	19	1946	昭和二十一年八月廿二日	(駅前調整供出分・金中二本メモ)	状			
164	8	20	1946	昭和二十一年八月二十日	受領書 (作業シヤツほか報賞代金255円25銭につき)	状	志田村農業会 (印)	荒田目部落会長殿	
164	8	21	1946	(昭和21年)	(南部班金巾ほか報賞割当書)	状			

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備考
165	1		1945	(昭和20年12月～昭和21年7月)			志田村農地委員会関係書類綴		綴				165—2～5を含む
165	2		1946	昭和二十一年七月十一日			農地委員会開催ニ関スル件		状	志田村農地委員長・森谷菊治郎(印)	加藤栄之丞殿		
165	3		1946	(昭和21年)			志田村小字別等級表		状	志田村農地委員会			
165	4		1947	昭和二十二年一月十日			(はがき、事業経過報告並ニ事業承認之件につき)		状	志田村長代理助役・門脇方(印)	荒田目・加藤栄之丞殿		
165	5		1945	昭和二十年十月十二日			農地委員会開催ニ関スル件通知		状	志田村長・森谷菊治郎(印)	農地委員・加藤栄之丞殿		
166	1		1946	(昭和21年7月～昭和23年9月)			大崎農民大学関係書類綴		冊				166—2・3を含む
166	2	1	1948	(昭和23年1月)			記(幹部研究協議会・体験研究発表会案内につき)		状				166—2—1・2糊付
166	2	2	1948	昭和二十三年一月二十八日			幹部研究協議会及体験研究発表会について		状	大崎農業大学理事長・大友五郎	加藤栄之丞殿		
166	3		1946	昭和二十一年五月十二日			大崎農民大学綱領		状				
167	1		1946	(昭和21年9月～昭和23年3月)			(民生委員会関係綴)		綴				167—2～5を含む
167	2		1946	(昭和21年)			(荒田目村民税額一覽)		状				破損あり
167	3		1946	(昭和21年)			昭和廿年度村民税等級税額(荒田目)		状				
167	4		1947	昭和二十二年三月六日			(はがき、民生委員会開催について)		状	志田村長代理助役・門脇方(印)	民生委員・加藤栄之丞殿		
167	5			(昭和・年未詳) 2月10日			伝票(毛布一〇五枚なダメモ)		状				
168	1		1894	明治廿七稔以降(～明治39年1月)			所有地・管理地・小作米・貸附記入台帳第壹号		冊	宮城県志田郡志田村荒田ノ目廿番番地・加藤栄之助			
168	2			(明治・年月日未詳)			(合田反別拾丁壹反九畝貳拾七分・地価金貳千七百六拾七円二拾六錢九厘書上)		状				
168	3			(明治・年月日未詳)			(宇川下田田畑略図)		状				

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
168	4			(明治・年月日未詳)	(宇東田圃田畑略図)	状			
168	5			(明治・年月日未詳)	(荒田目字天神参番田地地価・地租書上)	状			志田村役場の罫紙使用
168	6		1900	明治参拾参年七月拾九日	質札(堅綿男拾壹枚など計七品代金参円につき)	状	加藤栄之助(印)	氏家五平殿	
168	7		1900	(明治)三十三年十二月廿二日	記(三口合金四拾四円式十式銭ほか金穀勘定につき)	状			
168	8		1901	(明治)三十四年十二月廿八日	記(玄米壹石六斗ほか受取につき)	状	加藤栄之助(印)	佐藤徳治郎殿	
168	9			(明治・年月日未詳)	(合金五百八拾壹円廿三銭ほか金穀書上)	状			
168	10			(明治・年月日未詳)	(式口合金拾三円式銭式厘ほか金穀書上)	状			
169	1		1911	(明治44年)	明治四十三年度志田郡志田村荒田目耕地整理組合歳入出決算書	冊			
169	2		1911	(明治44年)	明治四十四年度志田郡志田村荒田目耕地整理組合歳入出総計予算書	冊			
169	3		1912	(明治45年)	明治四十四年度志田郡志田村荒田目耕地整理組合歳入出決算書	冊			
169	4		1912	(大正元年)	大正元年度志田郡志田村荒田目耕地整理組合歳入出総計予算書	冊			
169	5		1913	(大正2年)	大正元年度志田村荒田目耕地整理組合歳入出決算書	冊			
169	6		1914	(大正3年)	大正貳年度志田村荒田目耕地整理組合歳入出決算書	冊			
169	7		1913	(大正2年)	大正貳年度志田村荒田目耕地整理組合歳入出総計予算書	冊			
169	8		1914	大正参年拾月貳拾五日	大正参年度志田村荒田目耕地整理組合歳入出総計予算書	冊	荒田目耕地整理組合長・加藤久之助		
169	9		1915	(大正4年)	大正参年度志田村荒田目耕地整理組合経費収支決算書	冊			同-2部あり
169	10		1915	大正四年九月五日	大正四年度志田村荒田目耕地整理組合経費収支予算書	冊	志田村荒田目耕地整理組合・組合長・加藤久之助		同-2部あり
170			1910	明治四拾参年拾月	整理施行地名寄帳	冊	荒田目耕地整理組合		

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備	考
171			1910	明治四拾叁年拾月			荒田目土地台帳 附斎下ノ内四字		冊	荒田目耕地整理組合(荒田目耕地整理事務所・加藤久之助)				
172			1911	明治四拾四年五月			仮換地台帳		冊	荒田目耕地整理組合(白)				
173	1	1	1912	明治四十五年七月			確定図面容(袋)		状	荒田目耕地整理組合				
173	1	2	1912	明治45年)			(宇馬場崎二百五十五筆地籍図)		状					
173	1	3	1912	明治45年)			(大字渋井・大字荒田目地籍図)		状					
173	1	4	1912	明治45年)			(断簡、白紙)		状					
173	1	5	1912	明治45年)			渋井・荒田目境界図		状	荒田目耕地整理組合(蔵)				
173	1	6	1912	明治45年)			(宇葛生地籍図)		状					
173	1	7	1912	明治45年)			調(宇前干泥二番・斎藤善右衛門所有(まか書上)		状					志田郡志田村役場罫紙使用
173	1	8	1898	明治三一、六、六)			(測量図、二九坪三合七勺の図面を板垣氏に渡すとあり)		状					
173	1	9	1912	明治45年)			(測量図)		状					
173	1	10	1912	明治45年)			(宇後藤・葛生地籍図)		状					
173	1	11	1912	明治45年)			(下狼塚・菜蓋川ほか地籍図)		状					
173	1	12	1912	明治四十五年七月廿三日			(地籍図、および談判無事終了書上)		状					
173	1	13	1912	明治45年)			(宇新田・宇天神縮尺壹千貳百分ノ一図)		状					
173	1	14	1912	明治45年)			志田村大字飯川矢根倉(縮尺1/2000図)		状					
173	1	15	1912	明治45年)			志田郡志田村荒田目宇川下冊三十壹番地区(持主加藤榮之助)		状					

番号	枝番	枝番	西曆	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
173	1	16	1912	(明治45年)	志田村飯川字十文字 (縮尺1/2000図)	状			
173	1	17	1912	(明治45年)	宇新田局部図面	状			
173	1	18	1912	(明治45年)	加美郡鳴瀬村下狼塚 (地籍図)	状			
173	1	19	1912	(明治45年)	馬場崎 (地籍図)	状			
173	1	20	1912	(明治45年)	(宇旭・宇前田・宇城野縮尺1/2000図)	状			
173	1	21	1912	(明治45年)	志田郡志田村新堀字城野 (縮尺1/2000図)	状			
173	1	22	1950	昭和廿五年一月廿五日	志田郡志田村新堀城野 (縮尺1/2000図、古川稅務署台帖ヨリ写ス)	状			
173	2	1	1912	(明治45年)	図面入 (袋)	状			日本勸業銀行 (仙台) の封筒を再利用
173	2	2	1912	(明治45年)	志田郡志田村保柳耕地整理地区確定図	状			
174	1		1912	(大正元年)	大正元年度整理後土地台帳	冊	荒田目耕地整理組合		
174	2		1942	昭和十七年三月三十日	天神園永澤田略図	状			
175			1912	大正元年八月	整理後権利者名簿	冊	志田村荒田目耕地整理組合		
176			1912	大正元年九月七日	大正元年度志田郡志田村荒田目耕地整理組合第一回總會議事録謄本	冊	議長・加藤久之助		丁はずれ
177			1912	大正元年、大正2年	土地分割届 (志田郡志田村)	綴	届出人・佐々木榮之助 (王力10名)	古川稅務署長・稅務官・今野吉郎始殿	
178	1		1915	大正四年	換地説明書	冊	志田村荒田目耕地整理組合		
178	2		1931	昭和六年二月二十六日	換地説明書下付願	状	願人・千葉榮治 (印)	志田村荒田目耕地整理組合長殿	
179				(年月日未詳)	仮交付・換地説明書	冊	荒田目耕地整理組合		
180	1			(年月日未詳)	荒田目土地台帳	冊	(荒田目耕地整理組合)		荒田目耕地整理組合事務所の罫紙使用

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備考
180	2			(年月日未詳)			見出備考		状	(荒田目耕地整理組合)			
180	3		1981	昭和五十六年六月			(メモ、この製図の野取人加藤利惣七は加藤家先祖の利惣七とは全く同姓同名の別人である)		状				
180	4			(昭和・年月日未詳)			(断簡、東田五番)		状				
180	5			(年月日未詳)			宮城県志田郡志田村荒田目字天神三番・正福寺境内地位位置図(縮尺六百分の一)		状				
181	1			(年月日未詳)			荒田目土地台帳		冊	(荒田目耕地整理組合)			荒田目耕地整理組合事務所の罫紙使用
181	2		1940	(昭和15年)			(字天神八〇番田地作付調査書)		状				
182				(年月日未詳)			整理施行地志筆調		冊	(荒田目耕地整理組合)			
183			1930	昭和五年十月一日			国勢調査申告書		綴				25枚、丁はずれ
184	1		1943	(昭和18年8月～昭和24年6月)			志田村国民健康保険組合関係書類綴		綴				184—2～4を含む
184	2	1	1948	昭和二十三年六月十日			志田村国民健康保険組合保険料及一部負担金未納調		状				
184	2	2		(昭和・年月日未詳)			協議事項(志田村国民健康保険組合直営診療所設置の件ほか2件)		状				
184	3			(昭和・年月日未詳)			決定基本保険料通知(ほか)事業開始の諸注意)		状	志田村国民健康保険組合理事・森谷菊治郎(印)	加藤久之助殿		
184	4		1942	昭和十七年十一月			志田村国民健康保険組合ノ設立ニ就テ		状	發起人・門脇又三郎(ほか23名)			
185			1943	昭和十八年五月(～昭和18年7月)			納税組合理約・組合員並役員名簿		綴	荒田目納税組合			
186			1942	昭和十七年四月八日			備婚講並議員名簿		綴	荒田目備婚講			14枚、丁はずれ
187			1937	昭和十二年十二月吉日(四日)			備婚講規約並賛成人名簿		冊	荒田目備婚講			
188			1946	昭和廿一年七月			農葉販売台帳		綴	荒田目部落会			

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
189	1		1947	(昭和22年5月～昭和23年5月)	(大崎地区木材林産組合関係綴)	綴			
189	2		1948	(昭和23年)	昭和二十二年分給与所得に対する源泉徴収 所得税額の年末調整の要領	綴	大蔵省主税局		
190				(昭和・年月日未詳)	(志田尋常小学校児童名簿)	綴			封筒(中新田駅前郵便 局御中を再利用)共
191			1949	1949. 7. 15	研究会のしおり	綴	保柳分校		
192			1950	昭和25年1月1日	日本読書新聞第523号	状	東京都文京区春日町一の 一・日本出版協会		
193			1933	昭和九年二月	昭和七年度志田郡志田村歳入出決算書(ほ か関係書類綴)	綴			
194	1		1942	昭和一七、八、四	昭和十七年春肥配給明細表第一号(北部 班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	2		1942	昭和一七、八、四	昭和十七年春肥配給明細表第一号(南部 班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	3		1940	(昭和15年～16年)	十五年度分秋肥各人別割当明細表・春肥各 人別割当明細表(北部隣保班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	4		1940	(昭和15年～16年)	十五年度分秋肥各人別割当明細表・春肥各 人別割当明細表(南部隣保班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	5		1943	昭和十八年	春肥配分明細表(北部班)	状			
194	6		1943	昭和十八年	春肥配分明細表(南部班)	状			
194	7		1943	(昭和18年)	昭和十八年度苗代跡作用並びニ秋畑作用肥 料配給表(北部班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	8		1943	(昭和18年)	昭和十八年度苗代跡作用及び秋畑作用肥料 配給表(南部班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	9		1944	(昭和19年)	昭和十九年度春肥各人別配給明細表(北部 班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	10		1945	(昭和20年)	昭和二十年度春肥各人別配給明細表(北部 班)	状	(印、志田村荒田目部落 会)		
194	11		1944	(昭和19年)	昭和十九年度耕作反別	状			
194	12		1945	(昭和20年)	昭和二十年度耕作反別	状			

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛	先	備考
194	13		1946	(昭和21年)			昭和二十一年度耕作反別一覧表		状				
194	14		1941	(昭和16年～17年)			昭和十六年度秋肥割当表・昭和十七年度春肥割当表(北部班)		状	(印、志田村荒田目部落会)			
194	15		1941	(昭和16年～17年)			昭和十六年度秋肥割当表・昭和十七年度春肥割当表(南部班)		状	(印、志田村荒田目部落会)			
194	16			(昭和・年月日未詳)			借用證書(未使用)		状				同一3枚・白紙1枚
195			1945	昭和二十年十二月二十一日			聯合國最高司令官ノ正式代表者ニ対スル証明書ニ関スル件		状	大日本神祇会宮城県支部長	神職殿		
196	1		1950	昭和二十五年			古川高等学校関係書類綴		綴				
196	2		1950	昭和二十五年七月			(はがき、暑中御伺い申し上げます)		状	志田郡松山町立松山小学校・菅原憲助	志田中学校・佐藤泰治様		
197	1		1953	昭和廿八年八月廿八日			第七回宮城県社会教育研究大会・大崎地区大会に備えて(ノート)		冊	(加藤榮之丞)			
197	2		1953	(昭和28年)			社会教育の広範性・行政当局者の認識		状				
197	3			(昭和・年月日未詳)			高千穂流 結納品婚札心得		状				
197	4	1	1956	昭和三十一年一月十五日			成人祝賀式次第(静岡県興津町)		状	主催・興津町、興津町教育委員会、興津町公民館			
197	4	2	1954	(昭和29年)			栞		状	静岡県・興津町公民館			
197	4	3	1956	(昭和31年)			かじまつ論		状	日本道義振興会儀典研究部・木村清			
197	4	4	1956	(昭和31年)			モデル結婚式 説明台本		綴	興津町公民館			
197	5	1		(昭和・年月日未詳)			地域教育計画の樹立と実行につき社会教育の果すべき役割(ノート)		状				2紙1点
197	5	2		(昭和・年月日未詳)			人間性を離れた生涯とは(ノート)		状				
197	6			(昭和・年月日未詳)			町村協議会の新生活運動の展開の仕方について(ノート)		状				
197	7		1955	昭和三十年九月二十九日			大崎地区社会教育振興大会開催について		状	大崎地区公民館連絡協議会会長・武井雅雄			

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
198			1941	昭和十六年六月廿日・至昭和十六年六月廿四日	宮城県塩釜町塩釜神社に於ける第二班(東北地区)大東亜共栄圏建設講習会講義(ノート)	冊			
199	1		1941	昭和十六年二月二十七日・至昭和十六年三月十三日	新体制下第三回自治振興常会指導者錬成会に於ける講義 報徳に就て	冊			主催・大日本報徳社／後援・内務省、自治振興中央会
199	2		1941	昭和十六年二月二十七日・至昭和十六年三月十三日	新体制下第三回自治振興常会指導者錬成会々々々員名簿	冊			主催・大日本報徳社／後援・内務省、自治振興中央会
199	3		1943	昭和一八、七、一五	日本の使命と自覚(大政翼賛会志田村支部世話役世話人講習会講義要項)	状			
199	4		1942	昭和一七、一二、四	日本の使命と自覚	状			
199	5			(昭和・年月日未詳)	(皇国の大道・報徳について)	状			2紙1点
199	6			(昭和・年月日未詳)	世界的紛糾を解決すべきものは次代の青少年学徒なり	状			2紙1点
199	7			(昭和・年月日未詳)	「家」の精神について	状			3紙1点
199	8			(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、軍国世間咄・あるお召風景)	状	日野草城		
199	9			(昭和・年月日未詳)	最も勇敢なるものは最も柔和に最も愛情あるものは最も剛毅なり	状			3紙1点(うち2紙は未使用)
199	10		1940	(昭和15年)	杉山報徳社成績調	状	庵原郡庵原村杉山・杉山報徳社		
199	11		1941	昭和拾六年参月拾貳日	入金通知書(新体制下第三回自治振興常会指導者錬成会食費宿舍費印刷費代金拾五円につき)	状	静岡県掛川町・大日本報徳社(印)	加藤栄之丞殿	
199	12			(昭和・年月日未詳)	(人道と水平)	状			
199	13		1941	(昭和16年2月27日～3月13日)	新体制下第三回自治振興常会指導者錬成会行事表				主催・大日本報徳社／後援・内務省、自治振興中央会
199	14			(昭和・年月日未詳)	払込票・払込通知票(未使用)	状		(静岡県掛川町掛川九三七・大日本報徳社)	

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表題	形態	差出人	宛先	備考
200			1907	明治四十年	五月	十八日	明治四十年度戸別等級人名	冊			
201			1908	(明治41年)			志田村明治四十一年度戸別等級	冊		加藤殿	
202	1		1907	明治四十年	九月	二日	志田村旧村社祀委員会設置規定	冊			表紙にて鉛筆で「加藤」とあり
202	2		1907	(明治40年)			(志田村神社々地財産調)	綴			
203	1		1909	明治四十二年			農業状態調査 (志田郡志田村)	冊	志田郡志田村村長・渡邊五兵衛 (ほか7名)		203—1～3(仮綴一括)
203	2		1909	(明治42年)			米作一反収支損益比較表	状			
203	3		1909	(明治42年)			受領証 (佐々木家寿治田畑・収支につき)	状			
204			1886	明治四十三年	十一月	(明治19年3月～4月)	志田村大字荒田目小字地図	綴		戸長・具山大説、野取人・加藤利惣七、製図人・加藤貞三郎	破損あり、内容は明治19年作成の図面がほとんどを占める
205				(明治・年月日未詳)			志田村所有字地図	綴	鈴木家		
206	1			(明治・年月日未詳)			志田郡大字柏崎排地整理地区確定図 (縮尺弐千分ノ壹)	状			
206	2			(明治・年月日未詳)			宇後藤 (貳百四拾参筆排地整理地図)	状			
206	3			(明治・年月日未詳)			第四大区志田郡北方小三区荒田目村・拾壹番字四反町囲	状	戸長・伊藤基八郎、副戸長・門脇又四郎、百姓代・加藤榮之助		包紙あり、明治44年以降の作成
206	4			(明治・年月日未詳)			第四大区志田郡北方小三区荒田目村・廿三番字石橋囲	状	戸長・伊藤基八郎、副戸長・門脇又四郎、百姓代・加藤榮之助		包紙あり、明治44年以降の作成
206	5			(明治・年月日未詳)			川渡村名生定字不動山十一番ノ内見取面	状			
206	6		1941	昭和十六年	十月		志田村西荒井字若木 (縮尺二千分ノ一図)	状			
206	7		1945	昭和二〇、一〇、一七			志田村耳取字八幡・泉田・豊田・黄金囲図	状			

番号	枝番	枝番	西曆	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
206	8	1	1886	明治十九年五月	志田村耳取全略図	状	戸長・具山大説、製図 人・木村繁三郎、地押惣 代・岩崎如作、同・福原 興七郎		206—8—1～8(反綴一括)
206	8	2	1886	(明治19年)	志田村耳取字東窪田地図	状			
206	8	3	1886	(明治19年)	志田村耳取字笹成地図	状			
206	8	4	1886	(明治19年)	志田村耳取字西田地図	状			
206	8	5	1886	(明治19年)	志田村耳取字道下地図	状			
206	8	6	1886	(明治19年)	志田村耳取字荒田地図	状			
206	8	7	1886	(明治19年)	志田村耳取字東五輪地図	状			
206	8	8	1886	(明治19年)	志田村耳取字茂泉地図	状			
206	8	9		(年月日未詳)	玉造郡西大崎村鳥屋山原野組合林施業図	状			
206	10			(年月日未詳)	字後藤 (二百三十五筆地籍図)	状			
206	11			(年月日未詳)	志田村浜井耕地整理確定図(縮尺貳千分 一)	状			
206	12			(年月日未詳)	字葛生 (二百七十筆地籍図)	状			
206	13			(年月日未詳)	字深川圃・葛生東(地籍図)	状			
206	14			(年月日未詳)	志田郡志田村大字浜井耕地整理地区確定図 (縮尺貳千分之一)	状			
206	15			(年月日未詳)	志田村大字飯川耕地整理地区確定図部分図 (縮尺貳千分ノ一)	状			
206	16			(年月日未詳)	字馬場崎(貳百六拾八筆地籍図)	状			
206	17			(年月日未詳)	荒田目字横江上絵図	状			

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛先	備考
206	18			(年月日未詳)			字葛生 (貳百人拾壹筆地籍図)		状			
206	19			(年月日未詳)			志田村飯川字熊野 (地籍図)		状			
206	20			(年月日未詳)			志田村洪井字前干泥絵図		状			
206	21		1941	昭和十六年十月			玉造郡西大崎村南澤字桂澤囲略図		状			
206	22		1941	昭和十六年十月			志田村西荒井字大田囲 (地籍図)		状			
206	23			(年月日未詳)			荒田目字横江下絵図		状			左側に「字葛生囲」地籍図あり
206	24			(年月日未詳)			(飯川・馬場・保柳・田實略図)		状			
206	25			(年月日未詳)			後藤西囲・遠仙筒 (地籍図)		状			
206	26			(年月日未詳)			字新田・字天神 (地籍図)		状			
206	27			(年月日未詳)			東田囲・字天神・字神明東 (地籍図)		状			
206	28			(年月日未詳)			(略図下書)		状			
206	29			(年月日未詳)			(地籍図)		状			
206	30			(年月日未詳)			(字川崎(まか)略図下書)		綴			志田村役場の野紙使用
206	31			(年月日未詳)			町村常務委員懇談会 (メモ)		状			2紙1点
207	1			(昭和・年月日未詳)			東亜共栄圏建設の指導理念		綴			
207	2		1938	(昭和13年)			(昭和九・拾壹・拾貳年度葛生地番一覽)		綴			
207	3		1938	(昭和13年)			(昭和九～拾貳年度馬場崎地番一覽)		綴			
207	4		1938	(昭和13年)			(昭和九～拾貳年度後藤地番一覽)		綴			

番号	枝番	枝番	西暦	年 月 日	表 題	形態	差 出 人	宛 先	備 考
207	5		1938	(昭和13年)	(昭和九～拾貳年度天神地番一覽)	綴			
207	6		1938	(昭和13年)	(昭和九～拾貳年度新田地番一覽)	綴			
207	7		1938	(昭和13年)	(昭和九～拾貳年度川下地番一覽)	綴			
208	1	1	1943	(昭和18年3月29日～昭和20年7月1日)	(国民貯蓄組合指導者講習会(ほかノート)	冊			
208	1	2	1943	(昭和18年)	対策(江合鳴瀬川合流工事ニ対スル問題ほかメモ)	状			
208	2	1	1930	(昭和5年8月～昭和12年9月)	(備一ケ年間ニ於ケル発送貨物契約数並内訳(ほかノート)	冊			
208	2	2		(昭和・年月日未詳)	(新聞記事、「率勢米価」解説、米穀法運用の癖だが政友会案も不完全)	状			
208	2	3	1936	(昭和11年)	米作付反別調査区移動調	状			
208	2	4		(昭和・年月日未詳)	調査区結果表	状			
208	3	1	1954	(昭和29年10月26日～昭和31年4月15日)	(山形県立鶴岡北高等学校參觀(ほかノート)	冊			
208	3	2	1956	昭和三十一年四月十五日	受領書(宮城県地方教育委員会・教育長連絡協議会緊急合同役員会当日負担金参百円(につき)	状	宮城県地方教育委員会連絡協議会事務局長・同教育長連絡協議会合長・近衛主實(印)		
208	4			(昭和・年月日未詳)	(会議の開き方・議事進行ノート)	冊			
208	5			(昭和・年月日未詳)	(志田村翼賛壮年団員個票綴)	綴			
209			1928	(昭和3年～19年)	(委嘱状綴)	綴			スクラップブック
210	1		1945	(昭和20年～42年)	(委嘱状綴)	綴			スクラップブック
210	2		1952	昭和二十七年十月七日	当選告知(古川市教育委員会委員選挙につき)	状	宮城県古川市選挙管理委員会・委員長・都築徳衛(印)	加藤栄之丞殿	

番号	枝番	枝番	西暦	年	月	日	表	題	形態	差出人	宛先	備考
210	3	1	1945	昭和二十年	十月	三十一日	(職務勸励労金千円給与につき通知)		状	東北帝国大学庶務課長・石澤貞義 (印)	事務嘱託・加藤榮之丞殿	210—3—1～4封筒にて一括
210	3	2	1945	昭和二十年	六月	十三日	(学部研究室疎開深謝につき通知)		状	東北帝国大学法文学部長・廣濱嘉雄	加藤榮之丞殿	
210	3	3	1945	昭和二十年	十月	三十一日	(法文学部事務嘱託解職につき通知)		状	東北帝国大学	東北帝国大学事務嘱託・加藤榮之丞	
210	3	4	1945	昭和二十年	十月	二十日	(東北帝国大学法文学部への協力・援助につき感謝状)		状	東北帝国大学法文学部長・廣濱嘉雄、他教官一同	加藤榮之丞殿	
210	3	5	1945	昭和廿年	十一月	十三日	(東北帝国大学法文学部疎開などへの支援につき書状)		状	東北帝国大学法文学部長・廣濱嘉雄	加藤榮之丞様	3紙1点
211	1		1967	(昭和42年～61年)			(委嘱状綴)		綴			スクラップブック
211	2		1937	昭和十二年	七月		履歴書		状	加藤榮之丞 (印)		
211	3		1945	昭和廿年	八月	六日	履歴書		状	加藤榮之状 (印)		
212			1911	(明治44年～昭和45年)			(卒業・修業證書・賞状綴)		綴			スクラップブック

宮城県大崎市文化財調査報告書第五一集

加藤家文書―目録―

印刷 令和五年三月一日

発行 令和五年三月十日

編集・発行 大崎市教育委員会

大崎市岩出山字船場二一番地

印刷 内藤印刷有限会社古川営業所

大崎市古川塚目字石名坂一九一―一